

TM-T88VI Utility ユーザーズマニュアル

概要

TM-T88VI Utilityの特長や動作環境、インストールおよびアンインストールについて説明します。

使い方

TM-T88VI Utilityの使い方について説明します。

クーポン印刷

クーポン機能の使い方について説明します。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複製、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 運用した結果の影響については、上項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

EPSON、EXCEED YOUR VISION、および ESC/POS はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。Microsoft[®]、Windows[®]、Windows Vista[®]、Windows Server[®] は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

iBeacon は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Wi-Fi[®]、WPA[™]、WPA2[™] は Wi-Fi Alliance[®] の登録商標です。

Bluetooth[®] のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、セイコーエプソン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

ESC/POS[®] コマンドシステム

EPSON は、独自の POS プリンターコマンドシステム、ESC/POS により、業界のイニシアチブをとってきました。ESC/POS は特許取得済みのものを含む数多くの独自のコマンドを持ち、高い拡張性で多才な POS システムの構築を実現します。ほとんどの EPSON POS プリンターとディスプレイに互換性を持つほか、この独自の制御システムにはフレキシビリティもあるため、将来アップグレードが行いやすくなります。その機能と利便性は世界中で評価されています。

©Seiko Epson Corporation 2017. All rights reserved.

安全のために

記号の意味

本書では以下の記号が使われています。それぞれの記号の意味をよく理解してから製品を取り扱ってください。

注意

ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。

参考

補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

本書について

本書の目的

本書は、TM-T88VI Utility の使用に必要な情報を提供することを目的としています。

本書の構成

本書は以下のように構成されています。

第 1 章 [概要](#)

第 2 章 [使い方](#)

第 3 章 [クーポン印刷](#)

目次

■ 安全のために.....	3
記号の意味.....	3
■ 使用制限.....	3
■ 本書について.....	4
本書の目的.....	4
本書の構成.....	4
■ 目次.....	5

概要..... 7

■ 機能一覧.....	7
■ サポート OS.....	11
■ インストール.....	12
■ アンインストール.....	13
■ OS による違い.....	14

使い方..... 15

■ TM-T88VI Utility の起動.....	15
TM-T88VI Utility を起動する.....	15
通信ポートを追加して TM-T88VI Utility を起動する.....	17
■ プリンターへの設定.....	21
■ 現在の設定.....	22
■ ロゴの登録.....	25
ロゴの登録.....	28
■ 電子ジャーナル.....	32
電子ジャーナルデータの保管場所.....	32
電子ジャーナルの設定.....	32
電子ジャーナルの確認.....	33

■ 用紙節約.....	36
■ 自動用紙カット.....	38
■ 印刷制御.....	40
■ デバイスフォント.....	42
■ ブザー.....	43
■ カスタマーディスプレイ.....	45
■ インターフェイス.....	47
■ iBeacon.....	53
■ 動作テスト.....	55
■ プリンター登録.....	57
■ ePOS-Print.....	59
■ 迂回印刷.....	60
■ Web コンテンツ.....	62
Web コンテンツの自動更新.....	62
Web コンテンツの手動更新.....	63
■ サーバーダイレクト印刷.....	65
■ ステータス通知.....	67
■ プロキシ.....	68
■ Web ドキュメント.....	69
■ PHP 時差設定.....	70
■ IP アドレス.....	71
■ DNS.....	73
■ Wi-Fi.....	74
WPA2-Enterprise の設定.....	76
■ 証明書.....	79
証明書の登録.....	80
証明書の削除.....	82

■ SSL/TLS	83
■ イーサネット	84
■ SNMP.....	85
■ タイムアウト	86
■ Bonjour	87
■ 時刻設定.....	88
■ フィルタリング	89
■ 管理者設定.....	91
■ 設定の保存と復元	92
プリンターの設定をファイルに保存する	92
設定をプリンターに復元する.....	94

クーポン印刷 95

■ クーポン印刷の概要	95
印刷の仕組み	95
クーポン印刷の方法	96
オートカット時のロゴ印刷.....	98
クーポンデータ形式	98
環境	99
■ クーポンの設定	100
クーポンの登録.....	101
クーポンの印刷方法の設定.....	105
クーポン印刷の設定	108
印刷順番の指定	109
印刷頻度の指定	110
■ Coupon Generator でクーポンを登録 ..	111
■ クーポンの印刷	112
ポップアップ選択で印刷する場合	112
印刷結果の確認	114
■ FAQ	115
■ Acknowledgements	117

概要

「TM-T88VI Utility」は、TM-T88VI のソフトウェア設定を確認・設定する、TM-T88VI 専用のユーティリティです。

本章では、ユーティリティの機能一覧、動作 OS、インストールとアンインストール方法について説明しています。

機能一覧

本ユーティリティの機能は以下のとおりです。

メニュー		機能
メイン		プリンターの印刷やインターフェイスなどのメイン機能を設定します。
現在の設定		<ul style="list-style-type: none"> 現在の設定 22 ページ
基本設定	ロゴの登録	<ul style="list-style-type: none"> ロゴの登録 25 ページ
	クーポン*	<ul style="list-style-type: none"> クーポンの登録 クーポン印刷の設定 95 ページ
	電子ジャーナル*	<ul style="list-style-type: none"> 電子ジャーナルの設定 32 ページ
	用紙節約	<ul style="list-style-type: none"> 上下余白の削減 行間 / 改行の削減率 バーコード高さの削減率 バックフィードによるトップマージン量 文字高さの削減量 36 ページ
	自動用紙カット	<ul style="list-style-type: none"> カバークローズ時に用紙を自動カットする 用紙カット時にロゴを印刷する 38 ページ

メニュー		機能
	印刷制御	<ul style="list-style-type: none"> • 用紙幅 - 桁数 • 印字速度 • 印字濃度 • 多階調印字濃度 • オフライン中コマンド実行 • 電源容量 • インターフェイス起動中のパワー LED 表示 • オートカッターエラー解除方法の選択 • 自動改行 • USB 省電力機能の設定 • 紙なし信号出力に有効な検出器の選択 • エラー信号の設定 40 ページ
詳細設定	デバイスフォント	<ul style="list-style-type: none"> • デバイスフォントのコードページ • 国際文字セット 42 ページ
	ブザー	<ul style="list-style-type: none"> • オプションブザー設定 43 ページ
	カスタマーディスプレイ	<ul style="list-style-type: none"> • カスタマーディスプレイ設定 45 ページ
	インターフェイス	<ul style="list-style-type: none"> • <i>Bluetooth</i>[®] 設定 • シリアル設定 • USB クラス設定 • イーサネット設定 • 複数インターフェイスによる印刷のインターフェイスの選択 47 ページ
	iBeacon	<ul style="list-style-type: none"> • iBeacon の設定 53 ページ
動作テスト		<ul style="list-style-type: none"> • 動作テスト 55 ページ

メニュー		機能
インテリジェント機能		TM インテリジェントプリンターとして使用する機能を設定します。
デバイス管理	プリンター登録	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークプリンターの登録 57 ページ
ePOS-Print		<ul style="list-style-type: none"> ePOS-Print の設定 OFSC-Print の設定 59 ページ
迂回印刷		<ul style="list-style-type: none"> 迂回印刷の設定 60 ページ
Web コンテンツ		<ul style="list-style-type: none"> Web コンテンツの自動更新の設定 Web コンテンツの手動更新 62 ページ
サーバーアクセス	サーバーダイレクト印刷	<ul style="list-style-type: none"> サーバーダイレクト印刷の設定 65 ページ
	ステータス通知	<ul style="list-style-type: none"> ステータス通知の設定 67 ページ
	プロキシー	<ul style="list-style-type: none"> プロキシーの設定 プロキシーを有効にするサービスの設定 68 ページ
詳細設定	Web ドキュメント	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーWeb アプリケーションパスと WebConfig パスの設定 69 ページ
	PHP 時差設定	<ul style="list-style-type: none"> PHP の時差設定 70 ページ
ネットワーク		ネットワークプリンターとして使用する機能を設定します。
基本設定	IP アドレス	<ul style="list-style-type: none"> IP アドレスの設定 71 ページ
	DNS	<ul style="list-style-type: none"> DNS サーバーの設定 ホスト名とドメイン名の設定 73 ページ
	Wi-Fi	<ul style="list-style-type: none"> Wi-Fi の設定 74 ページ

メニュー		機能
詳細設定	証明書	<ul style="list-style-type: none"> 証明書の設定 79 ページ
	SSL/TLS	<ul style="list-style-type: none"> SSL/TLS の設定 83 ページ
	イーサネット	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークケーブルの通信規格の設定 84 ページ
	SNMP	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティの設定 IP トラップの設定 85 ページ
	タイムアウト	<ul style="list-style-type: none"> タイムアウトの設定 86 ページ
	Bonjour	<ul style="list-style-type: none"> Bonjour の設定 87 ページ
	時刻設定	<ul style="list-style-type: none"> タイムサーバーの設定 現在時刻の変更 88 ページ
	フィルタリング	<ul style="list-style-type: none"> IP フィルターの設定 89 ページ
管理者設定	管理者設定	<ul style="list-style-type: none"> 管理者名と設置場所の設定 91 ページ
設定の保存と復元		<ul style="list-style-type: none"> ログ登録ファイルとプリンターの設定をファイルに保存する 保存したファイルから設定をプリンターに復元する 92 ページ

* プリンタードライバーがインストールされていない場合は、利用できません。
(ドライバーの種類とバージョンについては、[99 ページ](#)「環境」を参照してください。)

サポート OS

- Windows 10 (32 bit/64 bit)
- Windows 8.1 (32 bit/64 bit)
- Windows 8 (32 bit/64 bit)
- Windows 7 SP1 (32 bit/64 bit)
- Windows Vista SP2 (32 bit/64 bit)
- Windows Server 2016
- Windows Server 2012
- Windows Server 2008 R2 SP1
- Windows Server 2008 SP2 (32 bit/64 bit)
- Windows Embedded Standard 7 (32 bit / 64 bit)

インストール

TM-T88VIUtilityXXX.exe を実行してください。

注意

管理者権限でインストールしてください。

お客様が画像編集アプリケーションで作成したクーポンを、EPSON Coupon Generator で登録する場合は、"セットアップタイプ" 画面で、"EPSON Coupon Generator" をチェックして、インストールしてください。

Coupon Generator をインストールすると、[デバイスとプリンター] に EPSON Coupon Generator (TM-T88VI) が追加されます。



1

アンインストール

以下の手順でアンインストールしてください。

- 1 コンピューターで実行している、他のすべての作業を終了します。
- 2 [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムのアンインストール] を選択します。
14 ページ「OS による違い」を参照してください。
- 3 "プログラムのアンインストールまたは変更" 画面が表示されます。[EPSON TM-T88VI Utility Ver.x.x] をダブルクリックします。
- 4 アンインストール確認画面が表示されます。[はい] をクリックします。
アンインストールされます。
- 5 "アンインストール完了" 画面が表示されます。[完了] をクリックします。

OS による違い

本書では OS によって記載内容が異なる場合があります。以下を参照してください。

項目	説明
画面の説明	本書では Windows 7 の画面で説明をしています。 他の OS をご使用の場合は、読み換えてお使いください。
TM-T88VI Utility の 起動	Windows 10 [スタート] - [すべてのアプリ] - [EPSON TM-T88VI] - [EPSON TM-T88VI Utility] Windows 8.1/Windows 8 [スタート] - [すべてのアプリ] - [TM-T88VI Utility] Windows 7 [スタート] - [すべてのプログラム] - [EPSON] - [TM-T88VI Software] - [TM-T88VI Utility] Windows Vista [スタート] - [すべてのプログラム] - [EPSON] - [TM-T88VI Software] - [TM-T88VI Utility]
アンインストール	Windows 10 [スタート] - [設定] - [アプリ] (または [システム]) - [アプリと機能] Windows 8.1/Windows 8 [デスクトップ] - サイドバー [設定] - [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール] Windows 7 [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール] Windows Vista [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール]

使い方

本章では、TM-T88VI Utility の使い方について説明しています。

注意

設定の保存中は、プリンターの電源を切ったり、接続を切断したりしないでください。

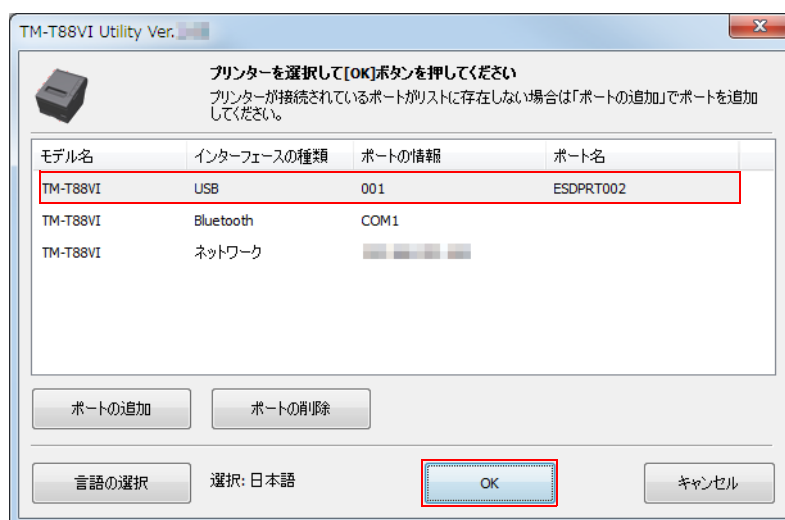
TM-T88VI Utility の起動

TM-T88VI Utility を起動する

以下の手順で、TM-T88VI Utility を起動します。

- 1 プリンターをコンピューターまたはネットワークに接続し、オンラインになっていることを確認してください。
- 2 [スタート] - [すべてのプログラム] - [EPSON] - [TM-T88VI Software] - [TM-T88VI Utility] を選択します。
14 ページ「OS による違い」を参照してください。
- 3 以下の画面が表示されます。設定・確認するプリンターを選択し、[OK] をクリックします。プリンターが表示されない場合は、[ポートの追加] をクリックします。17 ページ「通信ポートを追加して TM-T88VI Utility を起動する」を参照してください。

2



参考

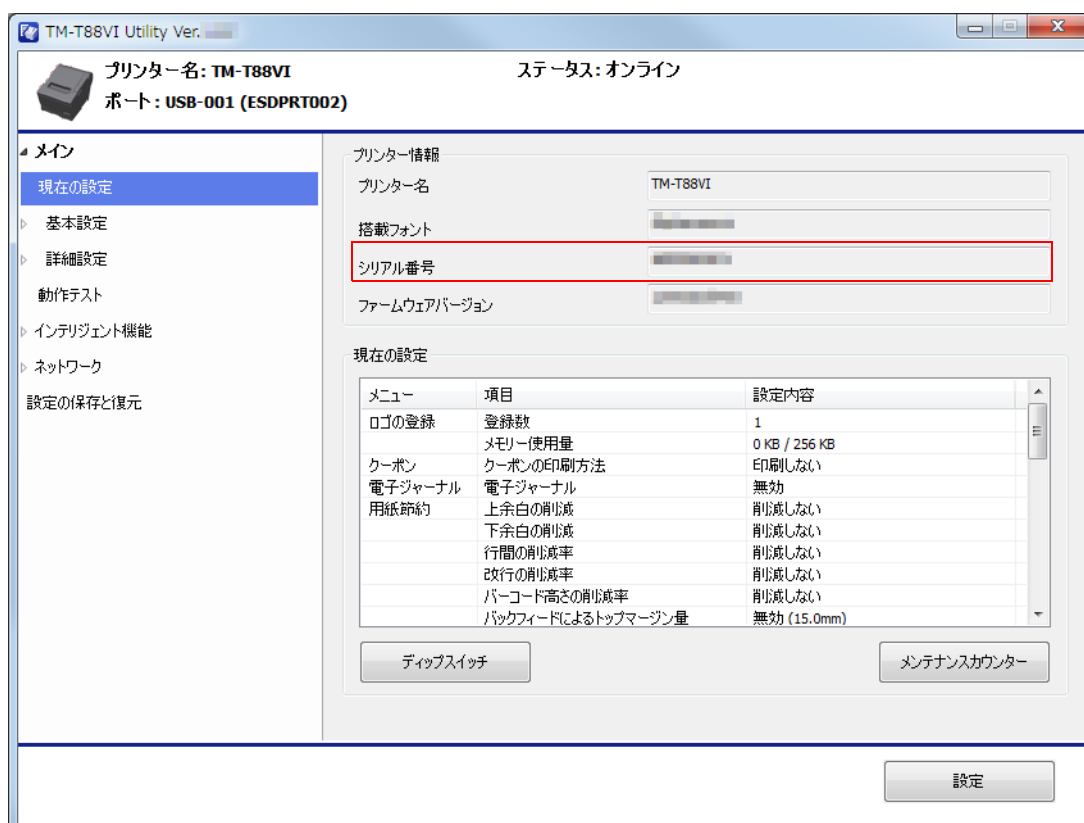
- 表示する言語を選択したい場合、[言語の選択] をクリックします。
- ポートを選択し、[ポートの削除] をクリックすると、選択した通信ポートが削除されます。

4 TM-T88VI Utility が起動します。"現在の設定"画面に取得した値が表示されます。

初めて接続したプリンターの場合、プリンターと通信できないときには本ユーティリティが起動しません。この場合、プリンターがオンラインになっていること、手順3で選択したインターフェイスでコンピュータと接続されていることを確認してください。

参考

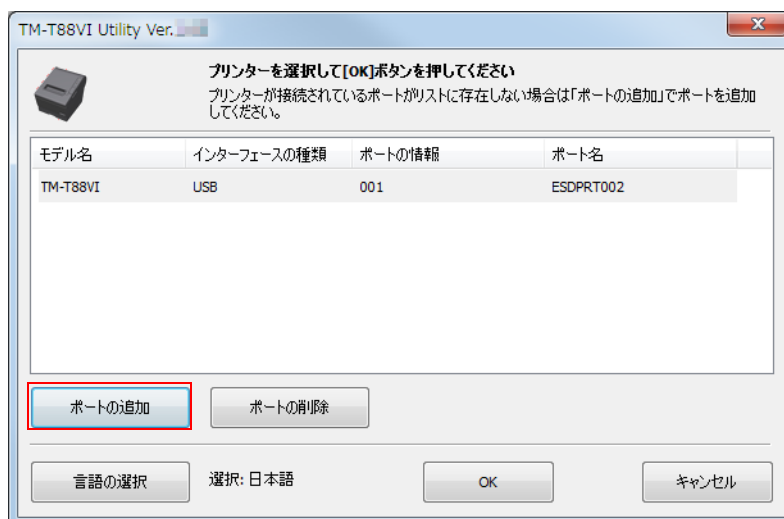
- 表示された"現在の設定"画面には、プリンターと通信して取得した値が表示されます。
- 本ユーティリティとの通信が確立して設定値を取得したプリンターの場合、プリンターと通信できなくても本ユーティリティは起動します。このとき、"現在の設定"画面には前回取得・設定した値を表示します。
- USB で複数のプリンターを接続している場合、接続したプリンターを識別するには、動作テストまたは、プリンター側面のシリアル番号と"現在の設定"画面の(プリンターの)シリアル番号を確認してください。



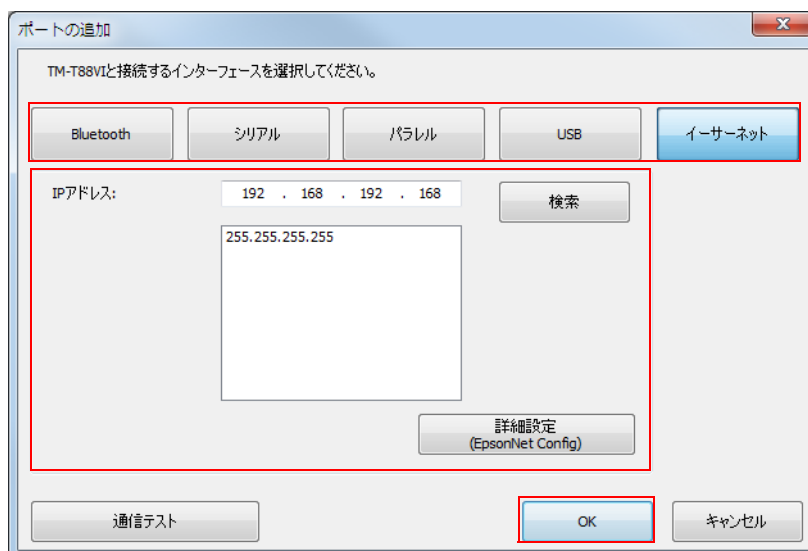
通信ポートを追加して TM-T88VI Utility を起動する

プリンターがリストに表示されない場合は、以下の手順で通信ポートを追加して、TM-T88VI Utility を起動します。

- 1 [スタート] - [すべてのプログラム] - [EPSON] - [TM-T88VI Software] - [TM-T88VI Utility] を選択します。
- 2 以下の画面が表示されます。[ポートの追加] をクリックします。



- 3 "ポートの追加" 画面が表示されます。追加するポートの設定をします。設定後、[OK] をクリックします。



参考

- ポートが通信できない場合、エラーメッセージが表示されます。その場合、ポートは追加できません。プリンターの接続状態、またはドライバーのポート設定を確認してください。
- [通信テスト]はテスト印刷ではなく、通信結果を画面に表示します。



インターフェイスごとに設定項目が異なります。下記の表を参考にして必要な項目を設定してください。

- Bluetooth

項目	説明
ポート	使用するコンピューターの仮想シリアルポートを選択します。
検索	通信可能な仮想シリアルポートを検索します。
ペアリングを実行	EPSON TM Bluetooth [®] Connector を起動します。 EPSON TM Bluetooth [®] Connector からプリンターのペアリングをしてください。
通信テスト	通信テストをします。

- シリアル

項目	説明
ポート	使用するコンピューターのシリアルポートを選択します。
検索	通信可能なシリアルポートを検索します。
通信速度	通信速度を設定します。
パリティ	パリティを設定します。
データビット	ビット長を設定します。
ストップビット	ストップビットを設定します。
仮想ポート設定	EPSON TM Virtual Port Driver Assignment Tool を起動します。 詳細は TM Virtual Port Driver Ver.X ユーザーズマニュアルを参照してください。
通信テスト	通信テストをします。

- パラレル

項目	説明
ポート	使用するコンピューターのパラレルポートを選択します。
検索	通信可能なパラレルポートを検索します。
仮想ポート設定	EPSON TM Virtual Port Driver Assignment Tool を起動します。 詳細は TM Virtual Port Driver Ver.X ユーザーズマニュアルを参照してください。
通信テスト	通信テストをします。

- USB

項目	説明
ポート	使用する USB ポートを選択します。
検索	通信可能な USB ポートを検索します。
通信テスト	通信テストをします。

参考

USB 接続の場合、プリンタークラスとベンダークラスのプリンターが混在する環境では、プリンターを追加できないことがあります。この場合は、すでにコンピューターに接続されているプリンターの電源を切ってから、本ユーティリティを起動してください。

- イーサネット

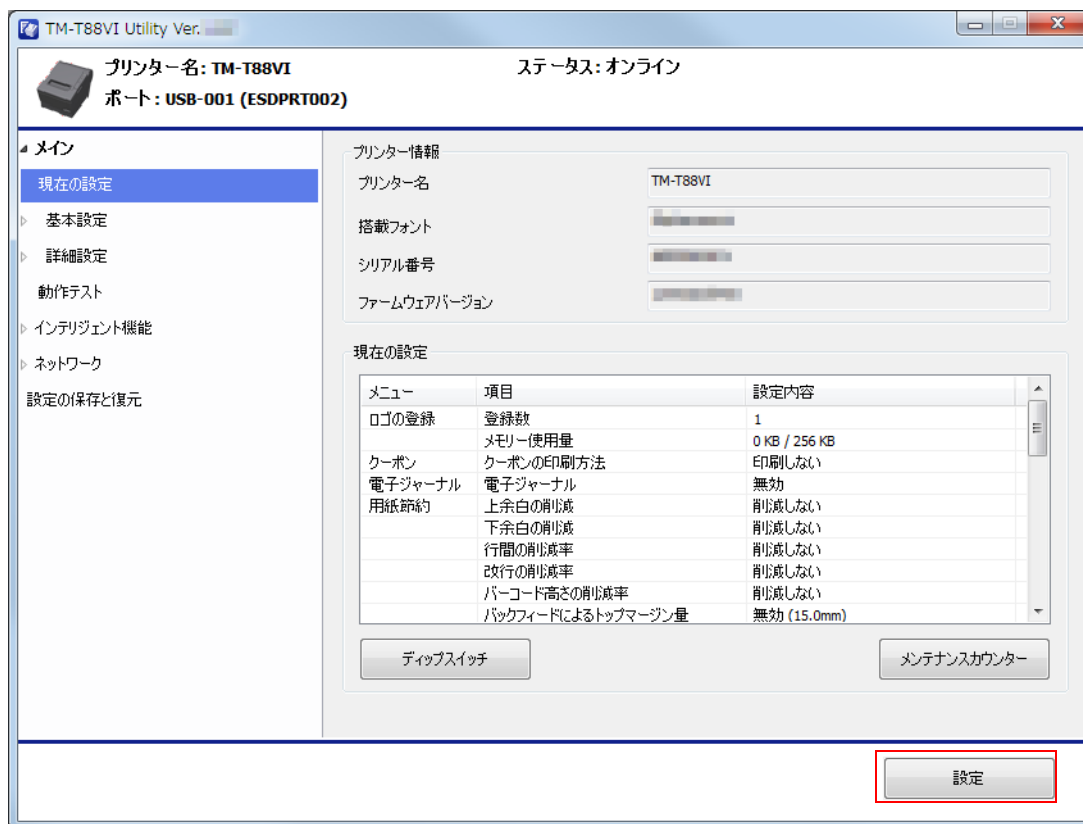
項目	説明
IP アドレス	使用するプリンターの IP アドレスを入力します。
検索	ネットワーク上にある TM-T88VI を検索し、IP アドレスを一覧表示します。
詳細設定 (EpsonNet Config)	EpsonNet Config を起動します。 EpsonNet Config からプリンターのネットワーク設定を行ってください。
通信テスト	通信テストをします。

参考

[検索]をクリックしても、IPアドレスを設定済みのTM-T88VIが表示されない場合、TM-T88VIのIPアドレスを [IP アドレス] に直接入力してください。

プリンターへの設定

プリンターへの設定は、本ユーティリティの各項目を設定した後に、[設定]をクリックします。



参考

プリンターへの設定は、設定後にプリンターを再起動するために約1分かかります。あらかじめ各項目を設定してから、プリンターへの設定をすることをお勧めします。

現在の設定

プリンターの印刷やインターフェイスなどの、メイン機能の設定値を表示します。
[メイン]-[現在の設定]で表示します。

メニュー	項目	設定内容
ロゴの登録	登録数	1
	メモリー使用量	0 KB / 256 KB
クーポン	クーポンの印刷方法	印刷しない
電子ジャーナル	電子ジャーナル	無効
用紙節約	上余白の削減	削減しない
	下余白の削減	削減しない
	行間の削減率	削減しない
	改行の削減率	削減しない
	バーコード高さの削減率	削減しない
	バックフィードによるトップマーヅン量	無効 (15.0mm)

項目		説明
プリンター情報	プリンター名	プリンター名が表示されます。
	搭載フォント	プリンターに搭載されているフォントが表示されます。
	シリアル番号	プリンターのシリアル番号が表示されます。
	ファームウェアバージョン	プリンターのファームウェアバージョンが表示されます。

項目		説明
現在の設定	ロゴの登録	登録されているロゴの数と、メモリーの使用量および全体量が表示されます。
	クーポン ^{*1}	クーポンの設定が表示されます。
	電子ジャーナル ^{*1}	電子ジャーナルの設定が表示されます。
	用紙節約	用紙節約の設定が表示されます。
	自動用紙カット	自動用紙カットの設定が表示されます。
	印刷制御	用紙幅 - 桁数、印字速度、印字濃度、多階調印字濃度、オフライン中コマンド実行、電源容量、インターフェイス起動中のパワーLED表示、オートカッターエラー解除方法の選択、自動改行、USB省電力機能の設定、紙なし信号出力に有効な紙なし検出器の選択、およびエラー信号の設定が表示されます。
	デバイスフォント	デバイスフォントのコードページおよび国際文字セットの設定が表示されます。
	ブザー	ブザーの設定が表示されます。
	カスタマーディスプレイ ^{*2}	カスタマーディスプレイの設定が表示されます。
	インターフェイス	インターフェイスの種類、主接続インターフェイスの選択、およびインターフェイスの切り替え待ち時間の設定が表示されます。
	ディップスイッチ	ディップスイッチが表示されます。 23 ページ「ディップスイッチ」 を参照してください。
	メンテナンスカウンター	メンテナンスカウンターが表示されます。 24 ページ「メンテナンスカウンター」 を参照してください。

*1 プリンタードライバーがインストールされていない場合は、表示されません。

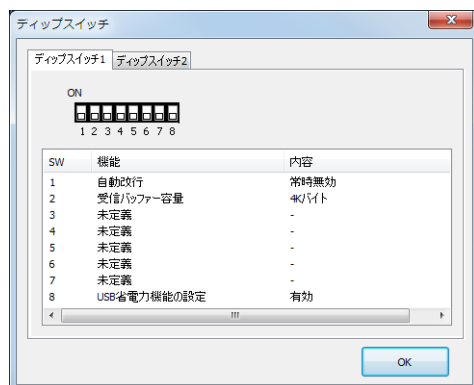
*2 カスタマーディスプレイが接続されていない場合は、表示されません。

ディップスイッチ

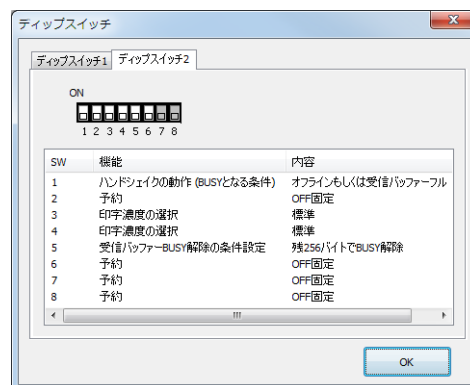
プリンターから取得したディップスイッチの情報を表示します。

プリンターから情報を取得できない場合、スイッチのイラストがグレイアウトします。ディップスイッチ 2-7、2-8 は、プリンターから情報を取得できないため、常にグレイアウトします。

プリンターがオフラインの場合は、前回プリンターから取得した情報を表示します。



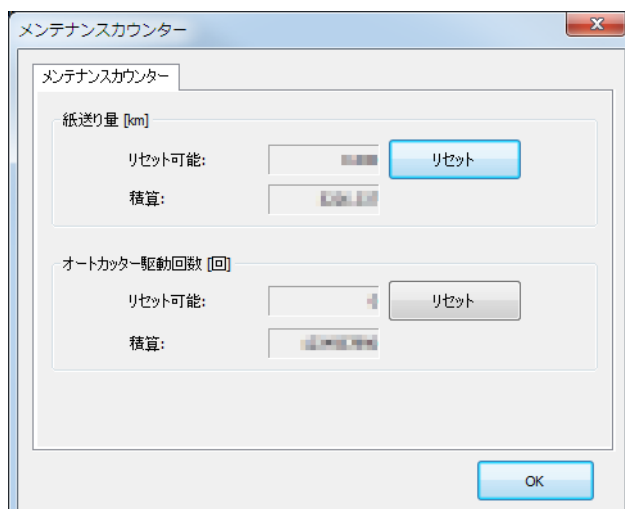
ディップスイッチ 1



ディップスイッチ 2

メンテナンスカウンター

メンテナンスカウンターの値の表示と、リセット可能な値をリセットできます。



項目		説明
紙送り量 [km]	リセット可能	プリンターの紙送り量を表示します。 [リセット]を押すと、値が 0.000 に戻ります。
	積算	プリンターの紙送り量 (積算値) を表示します。
オートカッター駆動回数 [回]	リセット可能	プリンターのオートカッター駆動回数を表示します。 [リセット]を押すと、値が 0 に戻ります。
	積算	プリンターのオートカッター駆動回数 (積算値) を表示しま す。

ロゴの登録

プリンターに登録するロゴデータの設定をします。
[メイン]-[基本設定]-[ロゴの登録]で表示します。

参考

プリンターに登録されているロゴは、以下のことはできません。

- ロゴデータの再編集
- プリンターへの再登録
- ファイル保存

開始キーコード指定モード

キーコード	画像ファイル	サイズ [バイト]
<input checked="" type="checkbox"/> 32, 32	*.* (登録済)	

プレビュー

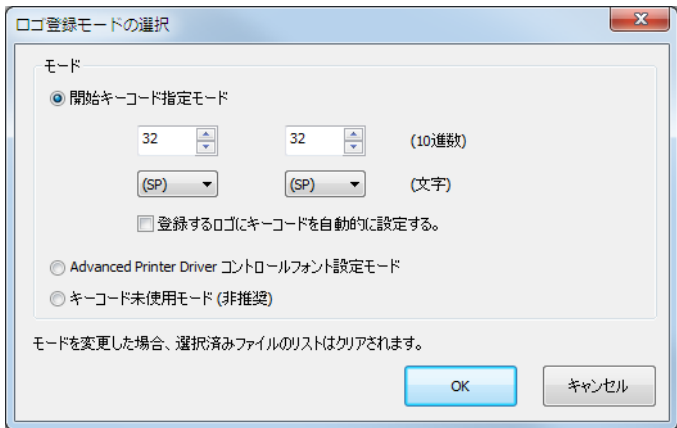
倍率: 標準 配置: 左揃え

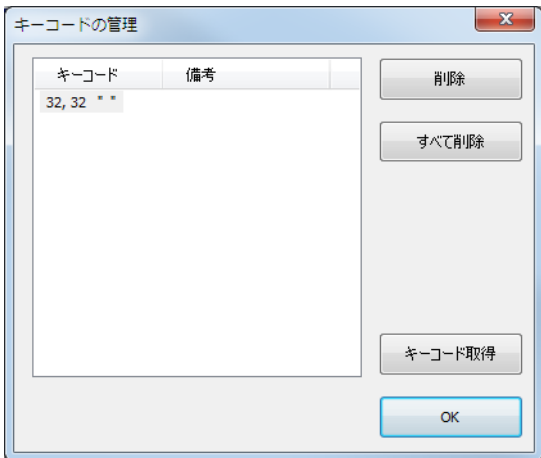
追加 ロゴサイズ: 0 KB
使用量: 0 KB/256 KB

追加 編集 削除 テスト印刷 モード変更 キーコードの管理

ファイルに保存 プリンターに登録

[ロゴの登録]には、以下の機能があります。

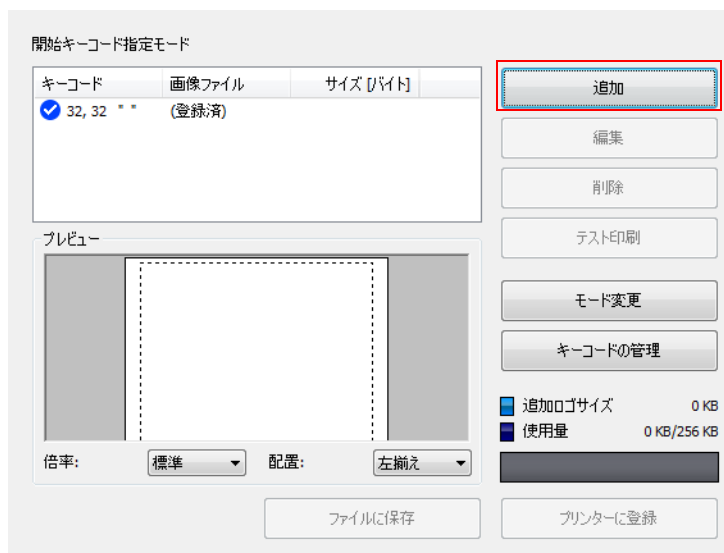
項目	説明
キーコードリスト	プリンターに登録されているロゴと、プリンターに追加するロゴを表示します。
キーコード	プリンターに登録済みのロゴ： ロゴデータのキーコードの左側に☑が表示されます。 追加するロゴ： 設定するキーコードのみ表示されます。
画像ファイル	プリンターに登録済みのロゴ： (登録済)が表示されます。 追加するロゴ： 画像ファイル名が表示されます。
サイズ[バイト]	プリンターに登録済みのロゴ： 表示されません。 追加するロゴ： 画像ファイルのサイズが表示されます。
追加	画像ファイルを追加します。
編集	画像ファイルのハーフトーンや明るさを編集します。
削除	ロゴを削除します。
テスト印刷	選択したロゴを印刷します。 ロゴに[倍率]、[配置]を設定すると、設定した結果の大きさと位置で印刷します。
モード変更	<p>ロゴの登録モードを変更します。[モード変更]をクリックすると、"ロゴ登録モードの選択"画面が表示されます。</p> 
開始キーコード指定モード	<p>ロゴ管理用の識別コードを指定します。</p> <p>登録するロゴにキーコードを自動的に設定する。</p> <p>チェックすると、登録するロゴにキーコードを自動的に設定します。チェックを外すと、ロゴを追加または編集するときにキーコードを設定します。</p>
Advanced Printer Driver コントロールフォント設定モード	Windows プリンタードライバ (Advanced Printer Driver Ver.5) の場合、キーコードの代わりに、control フォント (h ~ l) で管理します。
キーコード未使用モード (非推奨)	-

項目	説明
キーコードの管理	<p>プリンターに登録済みのキーコードを表示します。</p> 
削除	選択したキーコードのロゴを削除します。
すべて削除	プリンターに登録済みのすべてのロゴを削除します。
キーコード取得	プリンターの情報を再び取得します。
プレビュー	プリンターに登録する前の、ロゴのイメージが表示されます。登録済みのロゴのイメージは表示されません。
倍率	キーコードリストで選択したロゴの倍率を設定します。設定した結果は、[テスト印刷]またはプレビューで確認できます。実際に使用する場合には、ドライバーやESC/POS コマンドから倍率を指定してください。
配置	キーコードリストで選択したロゴの印刷位置を設定します。設定した結果は、[テスト印刷]またはプレビューで確認できます。実際に使用する場合には、ドライバーやESC/POS コマンドから配置を指定してください。
ロゴインジケータ	インジケータ：プリンターのロゴ登録可能メモリーサイズ 追加ロゴサイズ：リストに表示されているロゴのサイズ 使用量：登録済みロゴのサイズ
ファイルに保存	画像ファイルを、ロゴ登録ファイル (TLG ファイル) または、ビットマップファイルで保存します。
プリンターに登録	画像データを、プリンターに登録します。

ロゴの登録

複数のロゴを登録する場合、まとめて一度にプリンターに登録することをお勧めします。
以下の手順でロゴを登録します。

1 [追加] をクリックします。



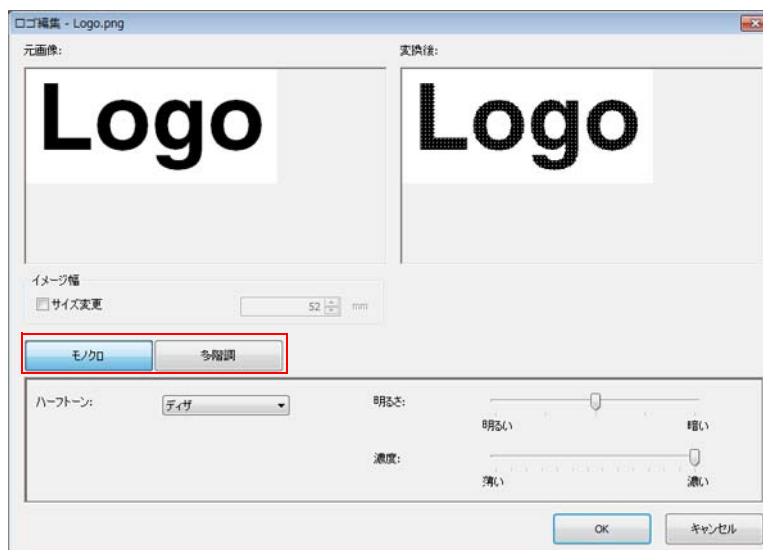
2 プリンターに登録する画像ファイルを指定し、[開く] をクリックします。

指定可能なファイルサイズは、幅 2047 x 高 831 ピクセル (ドット) 以下の bmp, jpeg, gif, png ファイルです。ロゴの幅が用紙幅を超える場合は警告メッセージを表示します。[OK] をクリックし、手順 4 の "ロゴ編集" 画面で縮小してください。

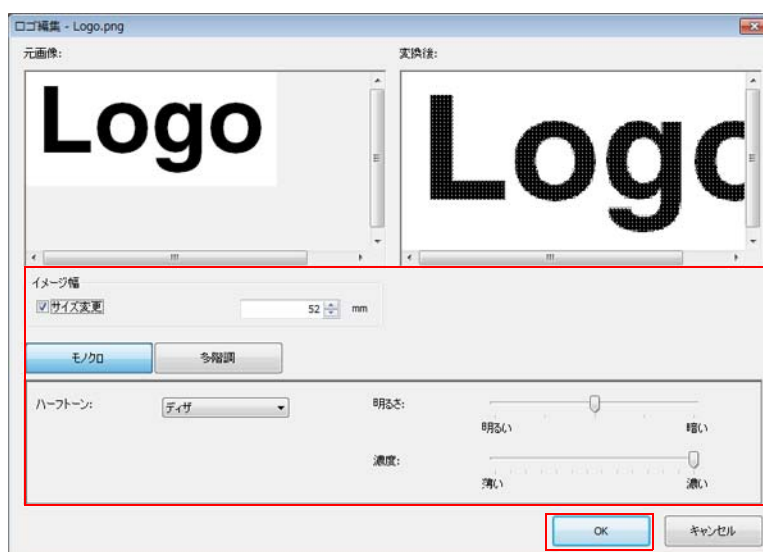


3 "ロゴ編集"画面が表示されます。[モノクロ]または[多階調]をクリックし、出力する画像フォーマットを選択します。

ロゴ登録モードが [キーコード未使用モード (非推奨)] の場合、[多階調] は表示されません。
[モノクロ]の場合は2色に、[多階調]の場合はグレースケールで16色(階調)に減色します。



4 画面上部のプレビューを参照して、イメージデータを設定します。設定が終了したら、[OK]をクリックします。



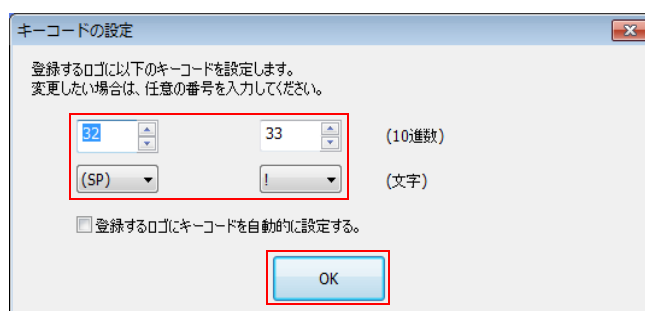
設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
イメージ幅	リサイズ後の画像サイズを設定します。(設定値は mm です。)
サイズ変更	サイズの変更の有 / 無を設定します。 チェックしない場合、画像のサイズで印刷されます。画像が大きい場合、用紙幅を超える部分は印刷されません。
ハーフトーン	ハーフトーンの種類を設定します。手順 3 で [モノクロ] を選択した場合、[ディザ]/[誤差拡散]/[なし] から、[多階調] を選択した場合、[ディザ]/[なし] から選択します

項目	説明
明るさ	明るさを設定します。手順 3 で [モノクロ] を選択した場合、5 段階から、[多階調] を選択した場合、15 段階から選択します。
濃度	印刷の濃度を設定します。

5 ログ登録モードが [開始キーコード指定モード] で、[登録するロゴにキーコードを自動的に設定する] にチェックされていない場合、"キーコードの設定" 画面が表示されます。キーコードを設定し、[OK] をクリックします。

[開始キーコード指定モード] 以外のログ登録モードや、[登録するロゴにキーコードを自動的に設定する] がチェックされている場合、"キーコードの設定" 画面は表示されません。



6 リストにロゴデータが追加されます。複数のロゴデータを登録する場合、手順 1 ~ 5 を繰り返します。

7 プリンターに登録するロゴデータをすべて追加後、画面右のインジケータでプリンターに登録可能なサイズを確認し、[プリンターに登録] をクリックします。



- 8** ロゴデータがプリンターに登録されます。また、ロゴデータはロゴ登録ファイル（TLG ファイル）にも保存されます。



ロゴ登録ファイルについて

ロゴ登録ファイル (TLG ファイル) は、ロゴをプリンターに登録したときに、上書き保存されます。このファイルには、最後にプリンターに登録したロゴのデータしか保存されません。そのため、複数のロゴデータをロゴ登録ファイルに保存したい場合、すべてのロゴデータを一度でプリンターに登録してください。すでにプリンターに登録済みのデータを保存するには、以下の手順を実施してください。

- 1** プリンターに登録済みのロゴをすべて削除します。
25 ページ「[ロゴの登録](#)」を参照してください。
- 2** プリンターに登録するロゴデータをすべて用意します。
- 3** TM-T88VI Utility にすべてのロゴを追加し、プリンターに一度で登録します。
この手順により、すべてのロゴデータを含むロゴ登録ファイル (TLG ファイル) が作成されます。
28 ページ「[ロゴの登録](#)」を参照してください。

電子ジャーナル

電子ジャーナルとは、印刷したデータをバイナリーファイルでコンピューターに保管する機能です。印刷の都度、ファイルが生成されます。TM-T88VI Utility では、日付を指定して印刷結果を表示できます。プリンタードライバーがインストールされていない場合は、利用できません。ドライバーの種類とバージョンについては、99 ページ「環境」を参照してください。

電子ジャーナルデータの保管場所

電子ジャーナルデータの保管場所は、以下のとおりです。

項目	説明
フォルダー	C:\ProgramData\EPSON\TMCommandEmulator\EJ ¥[機種名]¥[yyyymmdd(年月日)]
ファイル名	[ポート名]時分秒ミリ秒.bin (例: [LPT2]104045847.bin ポート名は、コンピューターのポートを確認してください。USB のポート名は、USB のシリアル番号 (USBID) となります。)

参考

電子ジャーナルデータは、コンピューターに蓄積されます。そのため数か月に一度、データを削除してください。必要に応じてバックアップしてください。

電子ジャーナルの設定

以下の手順で電子ジャーナルを設定します。

- 1 [メイン] - [基本設定] - [電子ジャーナル] をクリックします。
- 2 [電子ジャーナルを有効にする] にチェックします。



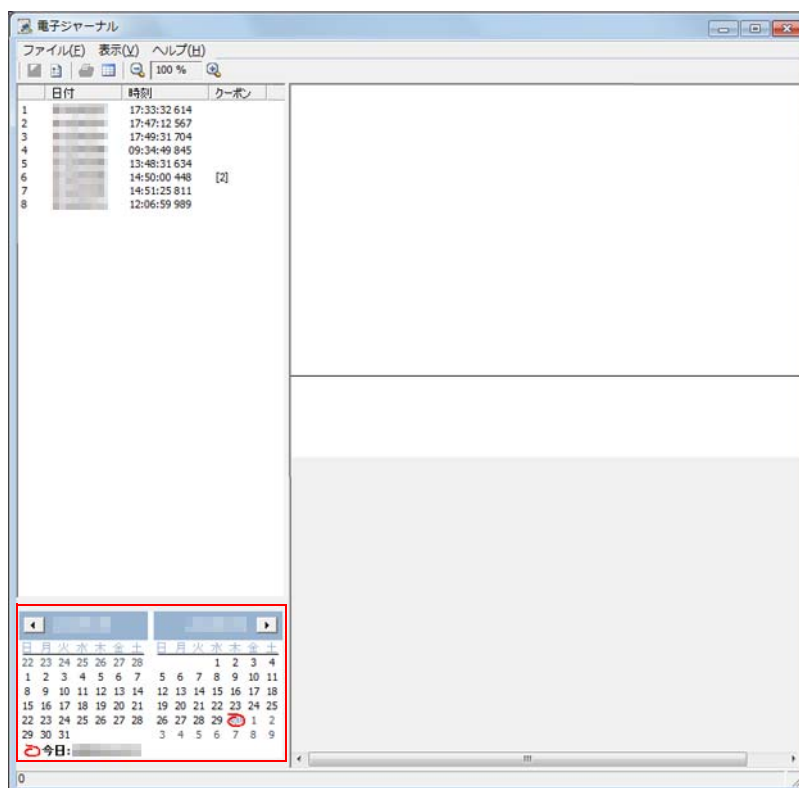
電子ジャーナルの確認

以下の手順で電子ジャーナルを確認します。

参考

[電子ジャーナルを有効にする]にチェックが入っていないと、電子ジャーナルを表示できません。

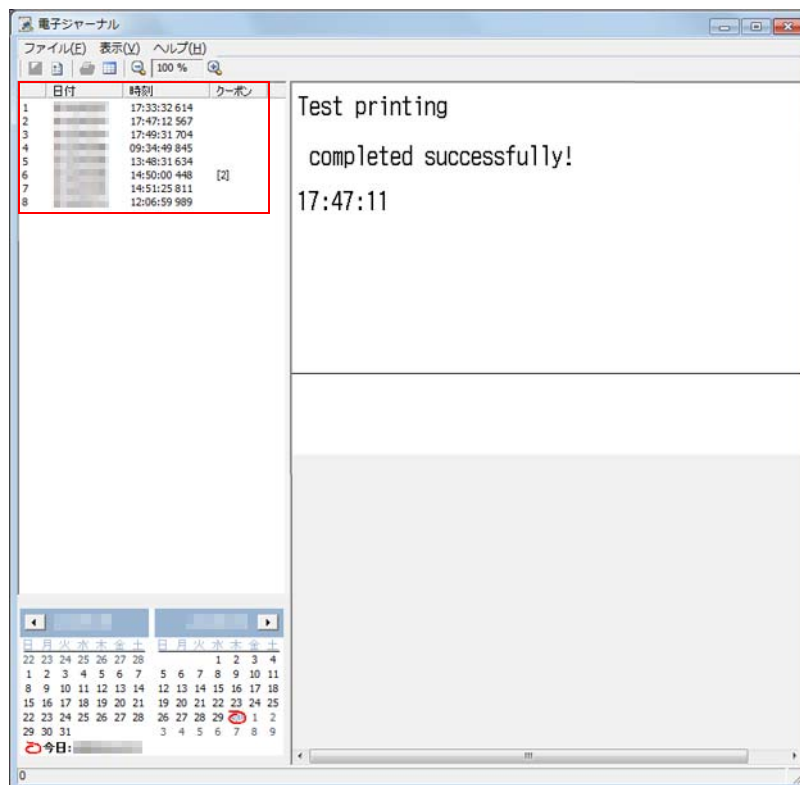
- 1 [基本設定] - [電子ジャーナル] をクリックします。
- 2 [表示] をクリックします。
"電子ジャーナル" 画面が表示されます。
- 3 確認したい期間 (日付) をカレンダーから選択します。



参考

週単位の表示など、月をまたいで選択する場合、表示枠をドラッグして広げると、2 か月分のカレンダーが表示されて選択できるようになります。

- 4 表示したいデータを、リストから選択します。
印字結果が表示されます。



電子ジャーナルのメニューバーは、以下の構成になっています。

項目	説明	
ファイル	テキストファイルに出力	選択した印刷データを、テキストファイルに出力します。 (グラフィックで印刷された場合は、テキスト出力されません。)
	ビットマップファイルに出力	選択した印刷データを、ビットマップファイルに出力します。
	印刷	選択した印刷データを、プリンターで印刷します。
	終了	電子ジャーナルを終了します。
表示	表示を更新	表示を更新します。
	Language	言語を切り替えます。
	オプション設定	プリンターの設定値を読み込み、画面に表示するイメージを実際に印刷したイメージに合わせます。
	レポート表示	日ごとのレシートの発行枚数、クーポンの発行枚数を集計できます。 35 ページ「レポート表示」 を参照してください。
ヘルプ	バージョン情報	電子ジャーナルのバージョンを表示します。

レポート表示

確認したい期間を選択し、[表示] - [レポート表示]を選択すると、以下の画面が表示されます。

1日ごとの印刷状況や、クーポン発行状況がわかります。

[CSVファイルに出力]をクリックすると、レポートの内容をCSVファイルに保存できます。

日付	レシート合計	クーポン合計	[1]	[2]	[3]
	4	1	0	1	0
合計	4	1	0	1	0

No.	Coupon file name
[1]	CPN_coupon_BW.rst
[2]	CPN_delicious_BW.rst
[1]	CPN_coupon_Lucky.rst

用紙節約

参考

ロゴ、クーポン等のイメージ印刷やページモード印刷の場合、用紙節約を設定しても用紙を節約できないことがあります。印刷方法ごとの節約できない条件は以下のとおりです。

- Advanced Printer Driver Ver.5 :
回転印刷、バーコードの回転など。*
- UPOS (OPOS ADK, OPOS ADK for .NET) :
ページモード印刷、回転印刷、ビットマップ/バーコード/文字を横にならべて印刷するなど。

- ESC/POS コマンド： ロゴやクーポン等のイメージ印刷、ページモード印刷、回転印刷など。

* プリンタードライバーには、印刷データの上下の余白を用紙節約する機能があります。

詳細はプリンタードライバーのマニュアルを参照してください。

お客様の使用環境で印字結果をご確認の上でお使いください。

用紙節約の設定をします。

以下の手順で設定します。

- 1 [メイン] - [基本設定] - [用紙節約] をクリックします。
- 2 画面の右側に表示されるプレビューを参照して、用紙節約の設定をします。



参考

Advanced Printer Driver Ver.5 がグラフィックモードの場合、[上余白の削減]と[下余白の削減]以外の設定は無効になります。

設定項目は以下のとおりです。

項目	機能
上余白の削減	上余白の削減の有無を選択します。[削減する]にすると、印刷開始から最初の印刷データまでの余白を削減します。
下余白の削減	下余白の削減の有無を選択します。[削減する]にすると、最終印字行からオートカットまでの余白を削減します。
行間の削減率	印刷行の、紙送りの縮小率を選択します。最小の紙送り量は2ドットです。

項目	機能
改行の削減率	空白行の紙送り量の縮小率を選択します。上余白節約で削除された行は対象外です。改行のみで紙送りしてマニュアルカットする場合、この設定で紙送り量が少なくなり、最終印刷行がカット位置まで紙送りされないことがあります。
バーコード高さの削減率	バーコードエレメントの高さの縮小率を選択します。バーコードの高さが30ドット以下には縮小しません。 この設定により、バーコードサイズの規格を満たさなくなることがあります。
バックフィードによるトップマージン量	バックフィードによるトップマージンの量を選択します。初期値は"無効(15 mm)"で、バックフィードしません。
文字高さの削減量	文字高さの削減量を選択します。 文字内の余白と文字の高さを縮小できます

参考

バックフィードを行う設定にした場合、以下の点に注意してください。

- カットした用紙が残っている状態で次の印字を行った場合、用紙が詰まる可能性があります。
- バックフィード中に用紙をつかむと、次回印刷時に印字乱れが発生します。
- 印刷速度が低下します。

3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

自動用紙カット

カバーを閉めたときの、オートカットやオートカット時のロゴ印刷の設定をします。

参考

ここでロゴを設定すると、クーポンを印刷する場合にもロゴを印刷します。クーポンにロゴを印刷しない場合は、クーポン印刷のオートカット時のロゴ印刷を設定します。
98 ページ「[オートカット時のロゴ印刷](#)」を参照してください。

以下の手順で設定します。

- 1 [メイン] - [基本設定] - [自動用紙カット] をクリックします。
- 2 設定する項目を選択します。



項目	機能
この機能を使用しない	オートカットの機能を無効にします。 手順 4 に進んでください。
カバークローズ時に用紙を自動カットする	カバーを閉めたときに、オートカットします。 手順 4 に進んでください。
用紙カット時にロゴを印刷する	オートカット時にロゴを印刷します。手順 3 に進んでください。

3 [用紙カット時にロゴを印刷する]を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

項目	機能
トップロゴ	用紙の最初に印刷するロゴを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • キーコード： 印刷するロゴのキーコードを選択します。 • 配置： ロゴの印刷位置を選択します。
ボトムロゴ	用紙の最後に印刷するロゴを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • キーコード： 印刷するロゴのキーコードを選択します。 • 配置： ロゴの印刷位置を選択します。
条件	ロゴ印字の動作条件を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • コマンドによる用紙カット時： 本項目のチェックは外せません。 • カバークローズ時： カバークローズ時にトップロゴ印刷するか設定します。 • 電源 ON 時： この設定にすると、プリンターの設定を変更するたびに、プリンターがリセットされ、用紙をオートカットしてトップロゴが印刷されます。
上余白の削減	[トップロゴ] の設定で印刷されるロゴの、上余白を節約できます。[トップロゴ] を設定した場合のみ設定可能です。[トップロゴ] の途中(上端から 13 mm)に白線が入る場合があります。そのため、お客様の使用環境で印字結果をご確認の上でお使いください。

4 他の項目を設定する場合は、[設定]をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定]をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

印刷制御

印刷制御の設定をします。
以下の手順で設定します。

- 1 [基本設定] - [印刷制御] をクリックします。
- 2 印刷制御の設定をします。

機能	設定値
用紙幅・桁数	80mm-42桁
印字速度	レベル 13
印字濃度	ディップスイッチの設定に従う
多階調印字濃度	100%
オフライン中コマンド実行	無効
電源容量	レベル3 (高)
インターフェイス起動中のパワーLED表示	無効
オートカッターエラー解除方法の選択	コマンドのみ
自動改行	常時無効
USB省電力機能の設定	有効
紙なし信号出力に有効な紙なし検出...	ロール紙エンド検出器有効、ロール紙ニアエンド検出器有効
エラー信号の設定	有効

設定項目は以下のとおりです。

項目	機能
用紙幅 - 桁数	プリンターの用紙幅と桁数を選択します。
印字速度	プリンターの印刷速度を選択します。
印字濃度	印字濃度を選択します。
多階調印字濃度	多階調印字濃度レベルを選択します。
オフライン中コマンド実行	プリンターがオフライン中にコマンドを実行するかどうかを選択します。
電源容量	プリンターに接続している電源容量のレベルを選択します。
インターフェイス起動中のパワーLED表示	本製品の電源を入れてからすべてのインターフェイスが通信できるようになるまでの間、パワーLEDを点滅させるかどうかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 有効：点滅します。 • 無効：点灯します。
オートカッターエラー解除方法の選択	オートカッターエラーの解除方法を選択します。
自動改行	自動改行の設定を選択します。
USB省電力機能の設定	USB省電力機能の設定を選択します。

項目	機能
紙なし信号出力に有効な紙なし検出器の選択	紙なし信号出力に有効な紙なし検出器を選択します。
エラー信号の設定	エラー信号の設定を選択します。

注意

印字中に電源が遮断されるなどのトラブルが発生した場合、[電源容量]のレベルを下げてください。それでもトラブルが解決しない場合、[印字速度]を遅くしてください。

参考

プリンタードライバーと設定が重なる場合、以下はプリンタードライバーの設定が優先されます。

- 印字濃度
- 印字速度

3 他の項目を設定する場合は、[設定]をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定]をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

デバイスフォント

デバイスフォントや国際文字セットの設定をします。

参考

- Advanced Printer Driver Ver.5の場合、[コードページ]と[国際文字セット]の設定は無効です。
- OPOS ADK の場合、OPOS 側で設定したコードページが有効になります。

以下の手順で設定します。

- 1 [メイン] - [詳細設定] - [デバイスフォント] をクリックします。
- 2 フォントの設定をします。

OPOS ADKを利用する場合は、SetupPOSでフォントを設定する必要があります。

コードページ:

国際文字セット:

設定項目は以下のとおりです。

項目	機能
コードページ	デバイスフォントのコードページを選択します
国際文字セット	国際文字セットを選択します。
テスト印刷	設定されたデバイスフォントのフォントパターンが印刷されます。

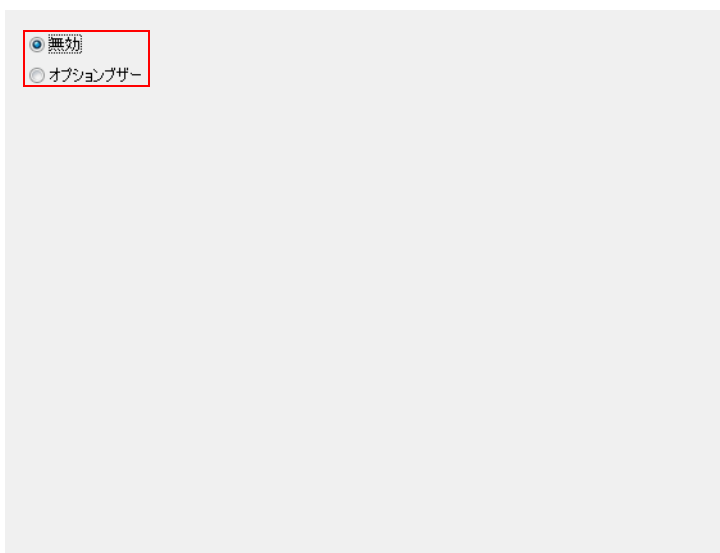
- 3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

ブザー

オプションブザーの設定をします。
以下の手順で設定します。

- 1 [メイン] - [詳細設定] - [ブザー] をクリックします。
- 2 ブザー使用の有無を選択します。



項目	説明
無効	ブザーを使用しません。手順4へ進んでください。
オプションブザー	オプションブザーを使用します。手順3へ進んでください。

3 オプションブザーの設定をします。

無効
 オプションブザー

エラー発生時: 鳴らさない

オートカット駆動時: 一回 パターンA

指定パルス1 (2 pin) 発生時: 一回 パターンB

指定パルス2 (5 pin) 発生時: 一回 パターンC

ブザーテスト: パターンA 再生

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
エラー発生時	エラー発生時のブザーの設定をします。 [鳴らさない]/[一回]/[鳴らし続ける] から選択します。
オートカット駆動時	オートカット駆動時のブザーの設定をします。 [鳴らさない]/[一回](パターン A ~ E) から選択します。
指定パルス 1 (2pin) 発生時	指定パルス発生時のブザーの設定をします。 [鳴らさない]/[一回](パターン A ~ E) から選択します。
指定パルス 2 (5pin) 発生時	指定パルス発生時のブザーの設定をします。 [鳴らさない]/[一回](パターン A ~ E) から選択します。
ブザーテスト	ブザーテストをします。 ブザーパターンを指定して、[再生] をクリックします。

4 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

カスタマーディスプレイ

カスタマーディスプレイの設定をします。

参考

カスタマーディスプレイを接続しないと、本ユーティリティの[カスタマーディスプレイ]は設定できません。

以下の手順で設定します。

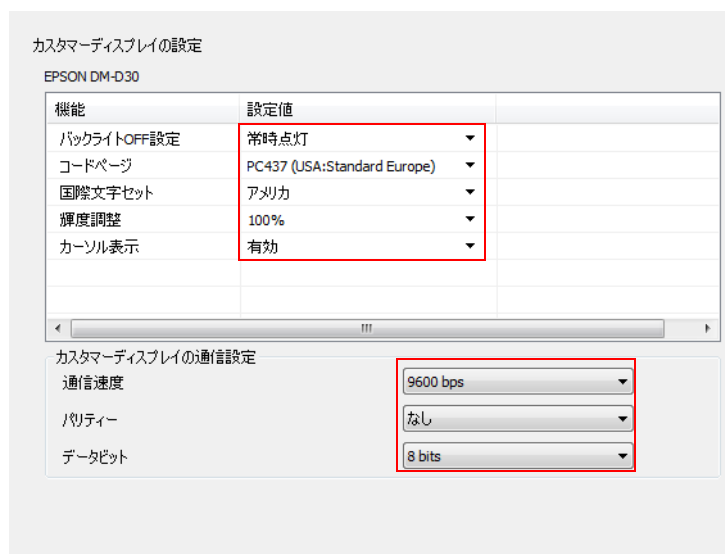
1 [メイン]-[詳細設定]-[カスタマーディスプレイ]をクリックします。

参考

カスタマーディスプレイを接続しても画面がグレイアウトされている場合は、プリンターの電源を入れなおしてから、本ユーティリティを再起動してください。



2 カスタマーディスプレイの設定をします。



設定項目は以下のとおりです。

項目	説明	
バックライト OFF 設定	バックライト消灯までの時間を指定します。 "0" を指定すると、常時点灯します。	
コードページ	カスタマーディスプレイのコードページを選択します。	
国際文字セット	カスタマーディスプレイの国際文字セットを選択します。	
輝度調整	バックライトの輝度を選択します。 初期値は 100% です。	
カーソル表示	画面にカーソルを表示するかどうかを選択します。	
カスタマーディスプレイの通信設定	通信速度	通信速度を選択します。
	パリティ	パリティを選択します。
	データビット	データビットを選択します。

3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

インターフェイス

プリンターのインターフェイスの設定をします。このユーティリティーでは、コンピューター側のポート設定はしません。

そのため、プリンターの設定をすると、プリンターと通信できなくなることがあります。

その場合、プリンタードライバーなどコンピューター側の設定をプリンターの設定に合わせてください。

以下の手順で設定します。

1 [メイン]-[詳細設定]-[インターフェイス]をクリックします。プリンターのインターフェイスを自動識別して、インターフェイスの設定画面が表示されます。

2 識別されたインターフェイスが表示されます。通信設定をします。

インターフェイス	説明	ページ
Bluetooth	Bluetooth 通信の設定および複数インターフェイスによる印刷のインターフェイスの設定を行います。	48 ページ
シリアル	シリアル通信の設定および複数インターフェイスによる印刷のインターフェイスの設定を行います。	49 ページ
USB	USB通信の設定および複数インターフェイスによる印刷のインターフェイスの設定を行います。	50 ページ
イーサネット	複数インターフェイスによる印刷のインターフェイスの設定を行います。	52 ページ

3 [プリンターへ設定]をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

4 他の項目を設定する場合は、[設定]をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定]をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

Bluetooth

Bluetooth 通信の設定および複数インターフェイスによる印刷のインターフェイスの設定を行います。

項目		説明
情報	BD アドレス	本製品の BD アドレスが表示されます。
設定	デバイス名	デバイス名を設定します。[編集]をクリックすると、編集画面が表示されます。初期値は、プリンターから取得したデバイス名が表示されます。
	パスキー	パスキーを設定します。[編集]をクリックすると、編集画面が表示されます。初期値は、プリンターから取得したパスキーが表示されます。
	セキュリティ	プリンターを検索する際のセキュリティレベルを設定します。 [低]、[中]、[高]から選択できます。 [低]/[中]から[高]に変更したり、[高]から[低]/[中]へ変更したりすると、ペアリングが解除されて通信できなくなります。OS 側でペアリングをやり直してください。
	iOS デバイスの自動再接続	プリンターと iOS デバイスの通信が切断された場合に、自動で再接続処理を行うかどうかを設定します。プリンターを Windows 環境で使用する場合、設定不要です。
	省電力モード時の通信間隔 *	省電力モード時の通信間隔を設定します。初期値は "通常" です。 "短い" に設定すると、印刷開始までの時間やプリンターに接続したカスタマーディスプレイに表示されるまでの時間を短縮できます。 ただし、通信頻度が増えるため、プリンターおよびホストの消費電力が大きくなります。また、ホストによっては本設定が有効とならず、ホストが指定した通信間隔となる場合があります。
主接続インターフェイスの選択		複数インターフェイスによる印刷をする場合の、主接続のインターフェイスを選択します。
インターフェイスの切り替え待ち時間		複数インターフェイスによる印刷の後に、インターフェイスの切り替えが可能になるまでの時間を設定します。

シリアル

シリアル通信の設定および複数インターフェイスによる印刷のインターフェイスの設定を行います。

項目	説明
通信速度	通信速度を選択します。
ディップスイッチの設定に従う	通信速度をディップスイッチによる設定か、メモリースイッチによる設定か選択します。 チェックした場合、ディップスイッチによる設定になります。 チェックしない場合、メモリースイッチによる設定になります。
パリティ	パリティを設定します。
データビット	データビットを設定します。
ストップビット	ストップビットを設定します。
主接続インターフェイスの選択	複数インターフェイスによる印刷をする場合の、主接続のインターフェイスを選択します。
インターフェイスの切り替え待ち時間	複数インターフェイスによる印刷の後に、インターフェイスの切り替えが可能になるまでの時間を設定します。

USB

USB 通信の設定および複数インターフェイスによる印刷のインターフェイスの設定を行います。

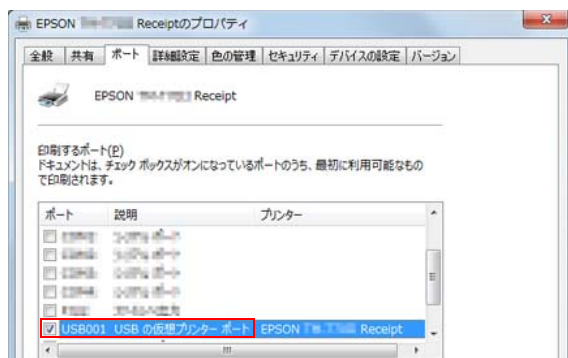
項目		説明
情報	USB デバイス	USB デバイスの名前が表示されます。
	USB デバイスのバージョン	USB デバイスのバージョンが表示されます。
	USB の ID	USB デバイスの ID が表示されます。
	USB の情報	USB デバイスの詳細情報が表示されます。
設定 - USB クラス設定	プリンタークラス (初期値)	プリンターをプリンタークラスに設定します。 ベンダークラスからプリンタークラスに変更すると、新しいキューが生成されます。 このキューからは Status API を使用できないため、削除して構いません。
	ベンダークラス	プリンターをベンダークラスに設定します。
主接続インターフェイスの選択		複数インターフェイスによる印刷をする場合の、主接続のインターフェイスを選択します。
インターフェイスの切り替え待ち時間		複数インターフェイスによる印刷の後に、インターフェイスの切り替えが可能になるまでの時間を設定します。

Status API を使用できるキューの見分け方

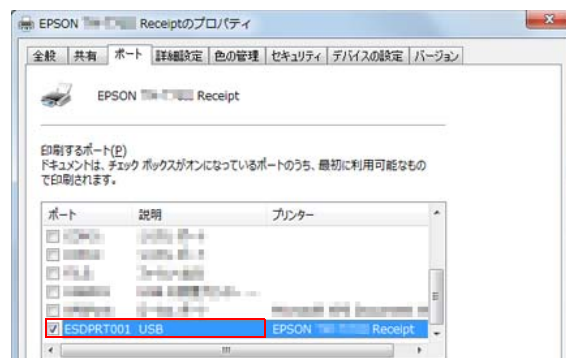
キューの [プリンターのプロパティ]-[ポート] から、"ポート" と "説明" を確認してください。

- プリンタークラス
 - ポート: USBxxx
 - 説明: USB の仮想プリンターポート
- ベンダークラス
 - ポート: ESDPRTxxx
 - 説明: USB

プリンタークラス

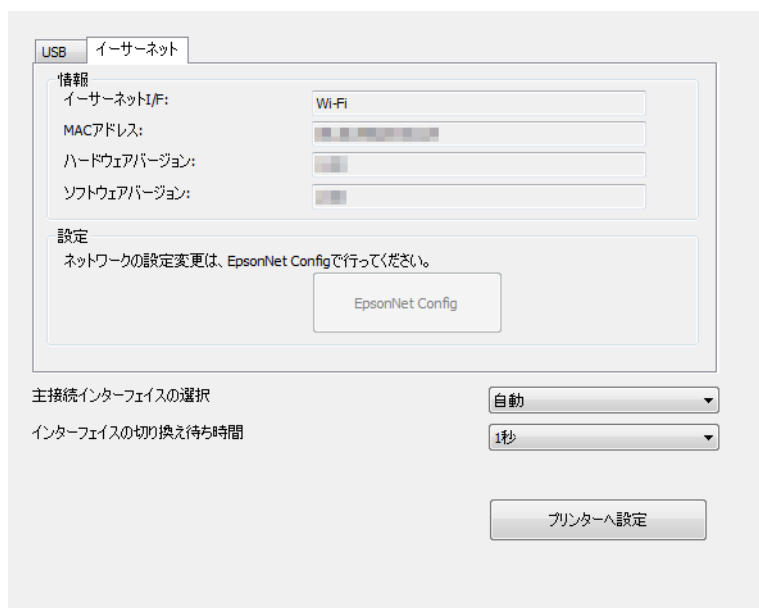


ベンダークラス



イーサネット

ネットワーク情報の確認と、複数インターフェイスによる印刷の、インターフェイスの設定を行います。ネットワークの設定は、本ユーティリティの [ネットワーク] から設定します。



項目		説明
情報	イーサネット I/F	イーサネットインターフェイスの種類が表示されます。
	MAC アドレス	イーサネットインターフェイスの MAC アドレスが表示されます。
	ハードウェアバージョン	イーサネットインターフェイスのハードウェアバージョンが表示されます。
	ソフトウェアバージョン	イーサネットインターフェイスのソフトウェアバージョンが表示されます。
設定	EpsonNet Config	EpsonNet Config を起動し、イーサネットの設定をします。
主接続インターフェイスの選択		複数インターフェイスによる印刷をする場合の、主接続のインターフェイスを選択します。
インターフェイスの切り替え待ち時間		複数インターフェイスによる印刷後に、インターフェイスの切り替えが可能になるまでの時間を設定します。

iBeacon

iBeacon の設定をします。
以下の手順で設定します。

- 1 [メイン] - [詳細設定] - [iBeacon] をクリックします。
- 2 iBeacon の設定をします。

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
UUID	UUID を入力します。 UUID には、a ~ f、A ~ F、0 ~ 9 が使用できます。 32 桁の 16 進数で入力します。
メジャー	メジャーナンバーを選択します。 メジャーナンバーには、a ~ f、A ~ F、0 ~ 9 が使用できます。 4 桁の 16 進数で入力します。
マイナー	マイナーナンバーを選択します。 マイナーナンバーには、a ~ f、A ~ F、0 ~ 9 が使用できます。 4 桁の 16 進数で入力します。
Measured Power	ビーコンの受信電波強度の基準値を指定します。電波強度を測定するアプリケーションを使用して、ビーコンを挿入したプリンターから 1m 離れた距離で測定した RSSI (Received Signal Strength Indicator) を入力してください。 -100 ~ 0 の整数が使用できます。
工場出荷時設定	iBeacon の設定を工場出荷時の設定に戻します。

- 3 [プリンターへ設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
- 4 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

動作テスト

プリンターが正常に動作するか、プリンターとドライバーが正常に通信されているか確認します。以下の手順で確認します。

- 1 [メイン] - [動作テスト] をクリックします。
- 2 動作確認したい項目をクリックします。

動作確認する項目は以下のとおりです。

- 印刷テスト

項目	説明
テスト印刷	テスト印刷します。正常に印刷されるか確認します。
ロゴ印刷	プリンターに登録されているすべてのロゴを印刷します。
フォント印刷	プリンターに搭載されているフォントを印刷します。

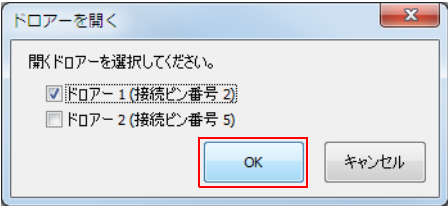
- ドライバーテスト *

項目	説明
テストするドライバーの選択	動作確認するプリンタードライバーを選択します。
テスト印刷	テスト印刷します。正常に印刷されるか確認します。

* プリンタードライバーがインストールされていない場合は、表示されません。

- デバイステスト

項目	説明
通信テスト	コンピューターとプリンターの通信が正常か確認します。
ブザーテスト	プリンターのブザーを鳴らします。

項目	説明
ドローアを開く	<p>プリンターに接続されているドローアを開きます。</p> <p>[ドローアを開く]をクリックすると、「ドローアを開く」画面が表示されます。テストするドローアを選択し、[OK]をクリックします。</p> 
カスタマーディスプレイ テスト*	カスタマーディスプレイに確認メッセージを表示します。

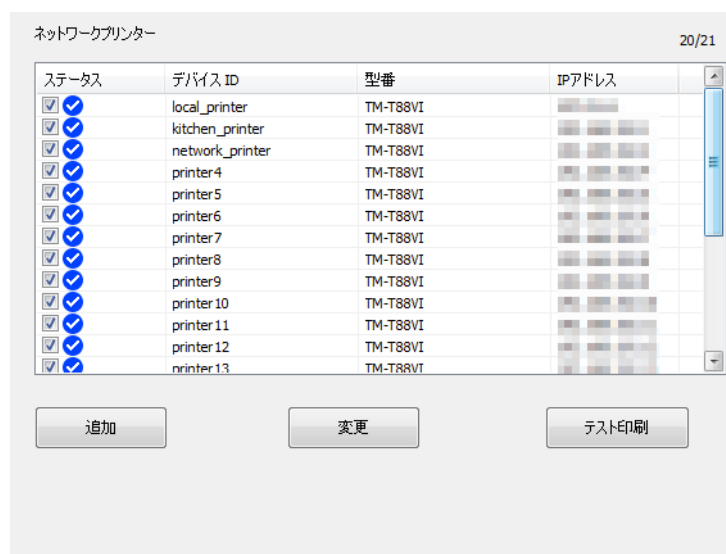
* カスタマーディスプレイが接続されていない場合は、表示されません。

プリンター登録

以下のインテリジェント機能および Epson ePOS SDK で本製品から制御する、ネットワークプリンターを登録します。プリンターは 20 台まで登録できます。

- ePOS-Print XML
- OFSC-Print
- サーバーダイレクト印刷
- ステータス通知

[インテリジェント機能] - [デバイス管理] - [プリンター登録] で表示します。



項目	説明
ネットワークプリンターリスト	登録済みのネットワークプリンターがリスト形式で表示されます。
ステータス	プリンターのステータスが表示されます。 ●: 登録済みプリンター ●: 編集中のプリンター ●: 削除するプリンター
デバイスID	プリンターのデバイスIDが表示されます。
型番	プリンターから取得した型番が表示されます。
IPアドレス	プリンターから取得したIPアドレスが表示されます。
追加	ネットワークプリンターを追加します。 [追加]をクリックすると、“追加”画面が表示されます。
変更	登録済みのネットワークプリンターの設定を変更します。 ネットワークプリンターリストからプリンターを選択し、[変更]をクリックすると、“変更”画面が表示されます。
テスト印刷	登録したネットワークプリンターで正常に印刷できるか確認します。 ネットワークプリンターリストからプリンターを選択し、[テスト印刷]をクリックすると、テスト印刷します。

ネットワークプリンターの登録は、以下の手順で行います。

- 1 [インテリジェント機能] - [デバイス管理] - [プリンター登録] をクリックします。
- 2 登録済みのネットワークプリンターがリストに表示されます。[追加] をクリックします。
- 3 “追加” 画面が表示されます。登録するプリンターの情報を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

項目	機能
デバイス ID	プリンターのデバイス ID を入力します。 デバイス ID には半角英数字・アンダースコア・ピリオド・ハイフンが 使用できます。 1 文字以上 30 文字以下で入力します。
型番	プリンターの型番を選択します。
IP アドレス	プリンターの IP アドレスを入力します。

- 4 設定後、[OK] をクリックします。
- 5 プリンターがリストに追加されます。ステータスが [編集中のプリンター] 変わります。
- 6 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

ネットワークプリンターを削除するには、ネットワークプリンターリストから削除するプリンターを選択し、ステータスチェックボックスのチェックを外して、[設定] をクリックします。

ePOS-Print

ePOS-Print の設定をします。
以下の手順で設定します。

参考

以下の機能が有効になっている場合、ePOS-Print を無効にできません。

- 迂回印刷
- サーバーダイレクト印刷
- ステータス通知

- 1 [インテリジェント機能] - [ePOS-Print] をクリックします。
- 2 ePOS-Print の設定をします。



設定項目は以下のとおりです。

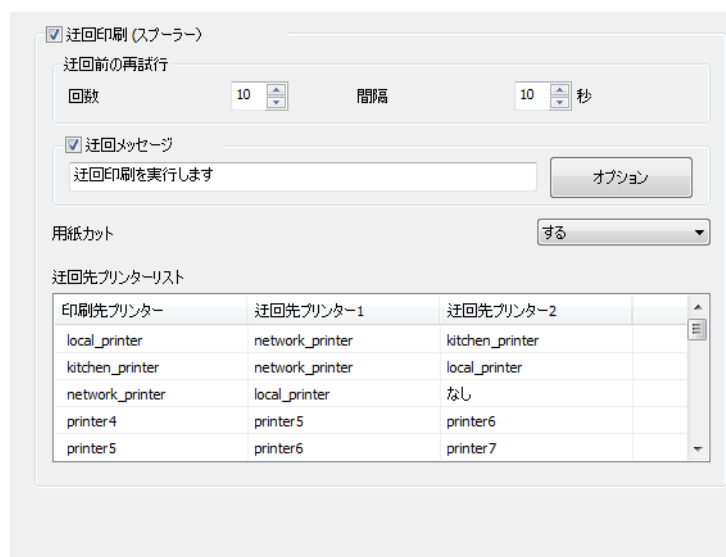
項目	説明
ePOS-Print を有効にする	ePOS-Print の有効 / 無効を設定します。
OFSC-Print を有効にする	OFSC-Print の有効 / 無効を設定します。

- 3 [設定] をクリックします。ePOS-Print が有効になっていない場合は、メッセージが表示されるので、[はい] をクリックしてください。

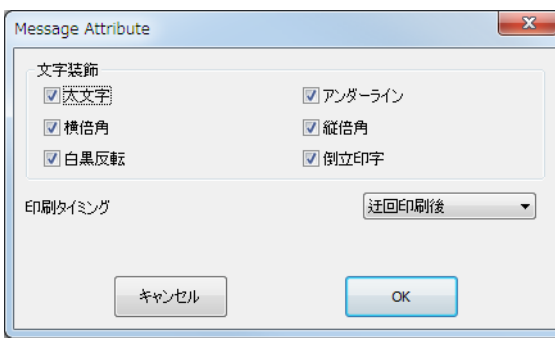
迂回印刷

迂回印刷の設定をします。
以下の手順で設定します。

- 1 [インテリジェント機能] - [迂回印刷] をクリックします。
- 2 迂回印刷の有効 / 無効を指定します。また、迂回印刷を有効にした場合、迂回印刷の動作設定をします。



設定項目は以下のとおりです。

項目	説明	
迂回印刷 (スプーラー)	迂回印刷の有効 / 無効を指定します。	
迂回前の再試行	回数	迂回印刷する前の、再試行回数を指定します。
	間隔	迂回印刷する前の、再試行間隔を指定します。
迂回メッセージ	迂回メッセージの有効 / 無効を指定します。 有効にした場合、迂回処理時に印字される、通知メッセージ入力します。	
オプション	迂回処理時に印字されるメッセージの、文字装飾や印刷タイミングを設定します。 	

項目	説明
用紙カット	用紙カットする / しないを選択します。
迂回先プリンターリスト	迂回先プリンターのリストを表示します。 迂回先プリンターは、プリンターのデバイス ID ごとに設定できます。 [印刷先プリンター]から印刷できない場合、[迂回先プリンター 1]から印刷します。 [迂回先プリンター 1]から印刷できない場合、[迂回先プリンター 2]から印刷します。

3 他の項目を設定する場合は、[設定]をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定]をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

Web コンテンツ

Web コンテンツを登録します。サーバーから定期的に自動更新したり、手動で更新したりできます。

参考

登録するWeb コンテンツは、展開後のサイズが30 MB以下のZip ファイルを用意してください。詳細は、本製品の詳細取扱説明書を参照してください。

Web コンテンツの自動更新

本製品の Web コンテンツをサーバーから定期的に取得して更新できます。以下の手順で設定します。

- 1 [インテリジェント機能] - [Web コンテンツ] をクリックします。
- 2 Web コンテンツの自動更新の設定をします。

The screenshot shows a configuration window for 'Webコンテンツの自動更新'. It contains the following elements:

- Webコンテンツの自動更新
- 自動更新するWebコンテンツ
- URL:
- ※http://もしくは、https://で始めてください。
- ID:
- パスワード:
- 更新スケジュール: 毎月, 10 日, 10 : 10
- 識別名:
- サーバー認証: 有効
- アップデート情報
- 項目 | 情報
- 最終更新日時 | 2012-03-09 10:10:10
- 自動更新の実施日時 | 2012-03-09 10:10:10
- 自動更新の実施結果 |
- 手動更新

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明	
Web コンテンツの自動更新	Web コンテンツの自動更新の有効 / 無効を指定します。	
自動更新する Webコンテンツ	URL	更新する Web コンテンツの URL を入力します。
	ID	ID を入力します。 この ID は、Digest 認証で使用するユーザー ID になります。
	パスワード	パスワードを入力します。 このパスワード ID は、Digest 認証で使用するパスワードになります。
更新スケジュール	Web コンテンツの更新スケジュールを指定します。	
識別名	Web サーバー側で本プリンターを識別するための識別名を入力します。	

項目		説明
サーバー認証		サーバー認証の有効 / 無効を設定します。 サーバー認証をする際の証明書は、[ネットワーク]-[詳細設定]-[証明書]で登録します。79 ページ「証明書」を参照
アップデート情報	最終更新日時	Web コンテンツの最終更新日時を表示します。
	自動更新の実施日時	自動更新の実施日時を表示します。
	自動更新の実施結果	自動更新の実施結果を表示します。

- 3** 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

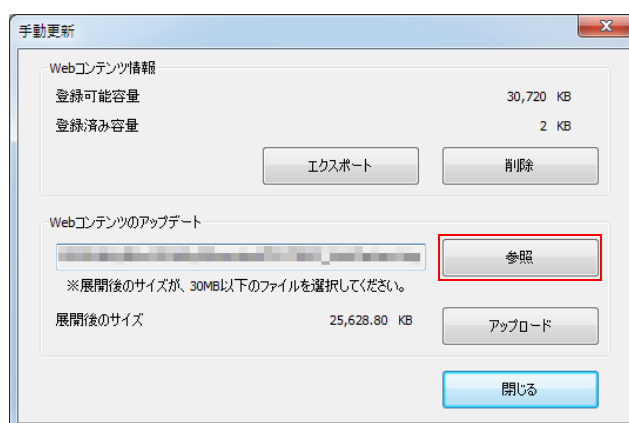
プリンターへの設定については、21 ページ「プリンターへの設定」を参照してください。

2

Web コンテンツの手動更新

本製品の Web コンテンツを手動で更新します。以下の手順で設定します。

- 更新する Web コンテンツをローカル環境に用意します。
- [インテリジェント機能] - [Web コンテンツ] をクリックします。
- “Web コンテンツ” 画面の、[手動更新] をクリックします。
- “手動更新” 画面が表示されます。[参照] をクリックし、アップロードする Web コンテンツファイルを選択します。



- 5 [展開後のサイズ]に、選択したファイルの展開後のサイズが表示されます。登録可能なファイルサイズであることを確認して、[アップロード]をクリックします。
- 6 アップロード後、[閉じる]をクリックし“手動更新”画面を閉じます。
- 7 他の項目を設定する場合は、[設定]をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定]をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

サーバーダイレクト印刷

サーバーダイレクト印刷の設定をします。
以下の手順で設定します。

- 1 [インテリジェント機能] - [サーバーアクセス] - [サーバーダイレクト印刷]をクリックします。
- 2 サーバーダイレクト印刷の設定をします。

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
サーバーダイレクト印刷	サーバーダイレクト印刷の有効 / 無効を指定します。
サーバー 1	サーバー 1 の有効 / 無効を指定します。
URL	印刷データの取得先 URL を入力します。
更新間隔	印刷データの取得終了後から、次の印刷データ取得までの待機時間を入力します。
サーバー 2	サーバー 2 の有効 / 無効を指定します。
URL	印刷データの取得先 URL を入力します。
更新間隔	印刷データの取得終了後から、次の印刷データ取得までの待機時間を入力します。
サーバー 3	サーバー 3 の有効 / 無効を指定します。
URL	印刷データの取得先 URL を入力します。
更新間隔	印刷データの取得終了後から、次の印刷データ取得までの待機時間を指定します。
ID	ID を入力します。 この ID は、Digest 認証で使用するユーザー ID になります。

項目	説明
パスワード	パスワードを入力します。 このパスワード ID は、Digest 認証で使用するパスワードになります。
URL エンコード	URL エンコードの有効 / 無効を選択します。
識別名	Web サーバー側で本プリンターを識別するための識別名を入力します。
予約カットのタイムアウト時間	予約カットのタイムアウト時間を指定します。 ネットワークプリンターの TM-T90KP から、印刷していない伝票が出る場合に設定してください。
サーバー認証	サーバー認証の有効 / 無効を選択します。 サーバー認証をする際の証明書は、[ネットワーク]-[詳細設定]-[証明書]で登録します。79 ページ「証明書」を参照

- 3** 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、21 ページ「プリンターへの設定」を参照してください。

ステータス通知

ステータス通知の設定をします。
以下の手順で設定します。

- 1 [インテリジェント機能]-[サーバーアクセス]-[ステータス通知]をクリックします。
- 2 ステータス通知の設定をします。

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明	
ステータス通知	ステータス通知の有効 / 無効を指定します。	
通知先サーバー	URL	ステータスを通知する通知先サーバーの URL を入力します。
	ID	ID を入力します。 この ID は、Digest 認証で使用するユーザー ID になります。
	パスワード	パスワードを入力します。 このパスワード ID は、Digest 認証で使用するパスワードになります。
通知間隔	ステータス通知終了から、次の通知を出すまでの待機時間を指定します。	
URL エンコード	URL エンコードの有効 / 無効を選択します。	
識別名	Web サーバー側で本プリンターを識別するための識別名を入力します。	
サーバー認証	サーバー認証の有効 / 無効を選択します。 サーバー認証をする際の証明書は、[ネットワーク]-[詳細設定]-[証明書]で登録します。79 ページ「証明書」を参照	

- 3 他の項目を設定する場合は、[設定]をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定]をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、21 ページ「プリンターへの設定」を参照してください。

プロキシ

プロキシサーバーの設定をします。
以下の手順で設定します。

- 1 [インテリジェント機能] - [サーバーアクセス] - [プロキシ] をクリックします。
- 2 プロキシの設定をします。

設定項目は以下のとおりです。

項目		説明
プロキシ		プロキシの有効 / 無効を指定します。
プロキシサーバー	URL	プロキシサーバーの URL を入力します。
	ID	プロキシ認証のための ID を入力します。 この ID は、Digest 認証で使用するユーザー ID になります。
	パスワード	プロキシ認証のためのパスワードを入力します。 このパスワード ID は、Digest 認証で使用するパスワードになります。
	ポート	プロキシサーバーのポートを指定します。
プロキシを有効にするサービス	Webコンテンツ自動更新	Web コンテンツ自動更新でプロキシを使用するか選択します。
	サーバーダイレクト印刷	サーバーダイレクト印刷でプロキシを使用するか選択します。
	ステータス通知	ステータス通知でプロキシを使用するか選択します。

- 3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

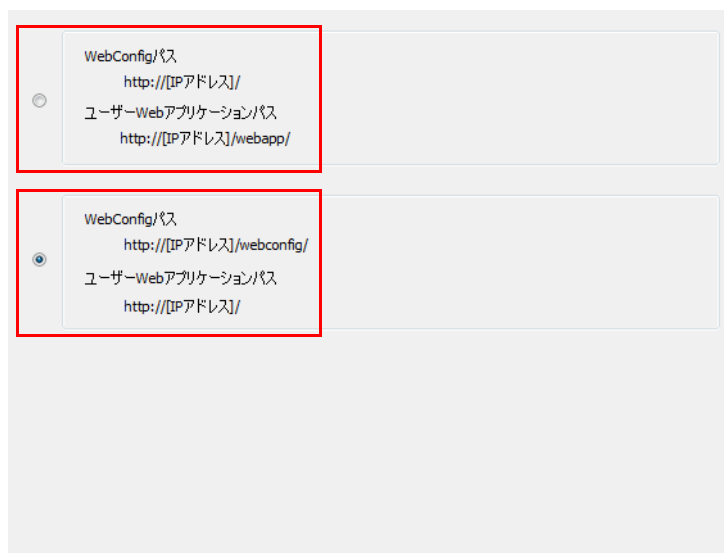
Web ドキュメント

ユーザー Web アプリケーションパスを http://[IP アドレス]/ に変更できます。
 その場合、WebConfig パスは http://[IP アドレス]/webconfig/ になります。
 工場出荷時は、以下の設定になっています。

パス	URL
WebConfig パス	http://[IP アドレス]/
ユーザー Web アプリケーションパス	http://[IP アドレス]/webapp/

以下の手順で設定します。

- 1 [インテリジェント機能] - [詳細設定] - [Web ドキュメント] をクリックします。
- 2 Web ドキュメントの設定をします。WebConfig パス/ユーザー Web アプリケーションパスの組み合わせを選択します。



- 3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

PHP 時差設定

PHP 時差設定をします。
以下の手順で設定します。

- 1 [インテリジェント機能] - [詳細設定] - [PHP 時差設定] をクリックします。
- 2 PHP 時差設定をします。

The screenshot shows a settings panel for PHP time zone configuration. At the top, the '時差' (Time Difference) option is selected with a radio button. Below it, a numeric input field shows '9' with up and down arrows, and the unit '時間' (Hours) is indicated. Underneath, the 'PHPタイムゾーン' (PHP Time Zone) option is selected with a radio button. This section contains two dropdown menus: '地域' (Region) is set to 'アフリカ' (Africa), and 'タイムゾーン' (Time Zone) is set to 'Africa/Abidjan'. Red boxes highlight the '時差' section and the two dropdown menus.

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
時差	時差を指定します。
PHP タイムゾーン	PHP タイムゾーンを指定します。
地域	タイムゾーンの地域を選択します。
タイムゾーン	タイムゾーンを選択します。

- 3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

IPアドレス

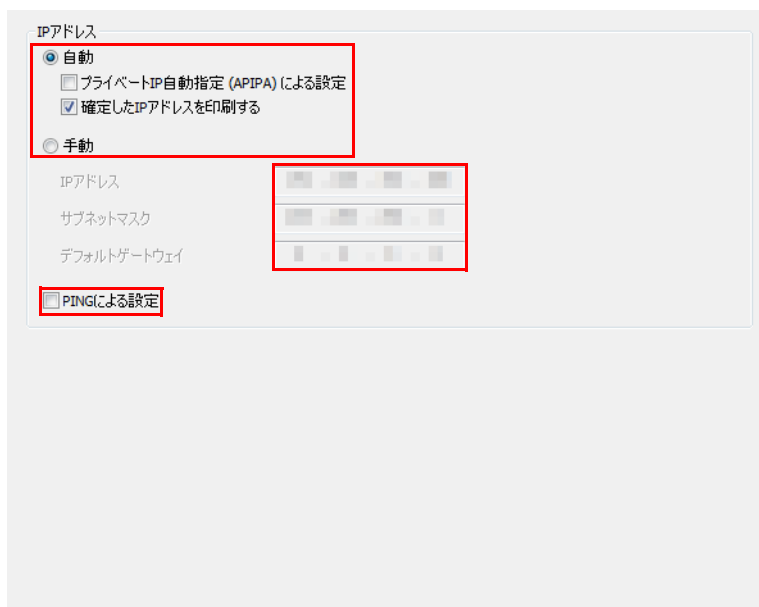
IPアドレスを設定します。

注意

- プリンターをネットワークに接続する前に、[時刻設定]で、プリンターの時刻を設定してください。詳細は、[88 ページ「時刻設定」](#)を参照してください。
- イーサネット接続しているプリンターのIPアドレスの設定を変更すると、プリンターと通信できなくなります。この場合は、本ユーティリティを再起動して通信ポートの選択からやり直してください。詳細は、[17 ページ「通信ポートを追加して TM-T88VI Utility を起動する」](#)を参照してください。

以下の手順で設定します。

- 1 [ネットワーク] - [基本設定] - [IPアドレス] をクリックします。
- 2 IPアドレスを設定します。



設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
自動	IPアドレスを自動で設定します。 本製品の電源を入れてから一定時間経過しても設定されない場合は、以下のIPアドレスが一時的に設定されます。 192.168.192.168
プライベートIP自動指定 (APIPA) による設定	APIPAの有効/無効を指定します。
確定したIPアドレスを印刷する	確定したIPアドレスの印刷の有効/無効を指定します。 有効にすると、本製品にIPアドレスが設定されると、IPアドレス、SubnetMask、GatewayおよびDHCPのステータスを印刷します。

項目	説明
手動	IPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイを手動で設定します。
IPアドレス	IPアドレスを入力します。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを入力します。
PINGによる設定	PINGによる設定の有効/無効を指定します。

3 他の項目を設定する場合は、[設定]をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定]をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

DNS

DNS を設定します。
以下の手順で設定します。

- 1 [ネットワーク] - [基本設定] - [DNS] をクリックします。
- 2 DNS を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

項目		説明	
DNS サーバー	自動	DNS サーバーを自動で設定します。	
	手動	DNS サーバー1	DNS サーバー 1 の IP アドレスを入力します。
		DNS サーバー2	DNS サーバー 2 の IP アドレスを入力します。
		DNS サーバー3	DNS サーバー 3 の IP アドレスを入力します。
		ホスト名とドメイン名の設定	ホスト名とドメイン名を手動で設定します。
ホスト名と ドメイン名 の設定	自動	ホスト名とドメイン名を自動で設定します。	
	手動	ホスト名	ホスト名を入力します。
		ドメイン名	ドメイン名を入力します。
	DDNS を有効にする	Dynamic DNS を有効にするか指定します。	

- 3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

Wi-Fi

Wi-Fi を設定します。
以下の手順で設定します。

- 1 [ネットワーク] - [基本設定] - [Wi-Fi] をクリックします。
- 2 Wi-Fi を設定します。

バンド幅設定 2.4GHz帯 2.4 / 5GHz帯

通信モード インフラストラクチャ アドホック

SSID

通信規格

チャンネル

セキュリティータイプ

PSK(事前共有キー)

省電力

設定項目は以下のとおりです。

項目		説明
バンド幅設定		バンド幅を指定します。
通信モード		通信モードを指定します。
SSID		SSID を入力します。
通信規格		通信規格を選択します。
チャンネル		チャンネルを選択します。
セキュリティータイプ		セキュリティータイプを選択します。
なし		セキュリティーを設定しません。
WEP (64bit)	使用する WEP キー	使用する WEP キーを選択します。
	WEP キー (1)	WEP キー (1) を入力します。
	WEP キー (2)	WEP キー (2) を入力します。
	WEP キー (3)	WEP キー (3) を入力します。
	WEP キー (4)	WEP キー (4) を入力します。
アクセスポイント認証方式		アクセスポイント認証方式を選択します。

項目		説明
WEP (128bit)	使用するWEPキー	使用する WEP キーを選択します。
	WEP キー (1)	WEP キー (1) を入力します。
	WEP キー (2)	WEP キー (2) を入力します。
	WEP キー (3)	WEP キー (3) を入力します。
	WEP キー (4)	WEP キー (4) を入力します。
	アクセスポイント 認証方式	アクセスポイント認証方式を選択します。
WPA-PSK (AES)	PSK (事前共有キー)	PSK(事前共有キー)を指定します。
WPA2- PSK	PSK (事前共有キー)	PSK(事前共有キー)を指定します。
WPA2- Enterprise	認証方式	認証方式を選択します。
	詳細設定	クライアント認証設定 / サーバー認証設定をします。 詳細は 76 ページ「WPA2-Enterprise の設定」 を参照してください。
	暗号強度	暗号強度を選択します。
省電力		省電力機能の有効 / 無効を設定します。

3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#) を参照してください。

WPA2-Enterprise の設定

WPA2-Enterprise の設定をします。

ここでは、あらかじめ登録された証明書を選択します。証明書の登録方法は、79 ページ「証明書」を参照してください。

- 1 Wi-Fi 画面の [セキュリティタイプ] で、[WPA2-Enterprise] を選択すると、以下の画面が表示されます。

The screenshot shows the Wi-Fi security settings interface. The 'セキュリティタイプ' (Security Type) is set to 'WPA2-Enterprise'. Below it, the '認証方式' (Authentication Method) is set to 'EAP-TLS'. A '詳細設定' (Detailed Settings) button is visible. Other settings include 'バンド' (Band) set to '2.4GHz帯', '通信モード' (Communication Mode) set to 'インフラストラクチャー', 'SSID' set to 'EPSON_Printer', '通信規格' (Communication Standard) set to '自動', 'チャンネル' (Channel) set to an empty dropdown, and '暗号強度' (Encryption Strength) set to '中'. A '省電力' (Power Saving) checkbox is at the bottom left.

- 2 [詳細設定] をクリックすると、詳細設定画面が表示されます。

3 認証方式に応じて、クライアント認証設定とサーバー認証設定をします。 認証方式によって画面が異なります。

EAP-TLS の場合

認証方式	項目		説明
EAP-TLS	クライアント 認証設定	ユーザー名	ユーザー名を入力します。
		クライアント 証明書	本製品に登録済みのクライアント証明書がリスト に表示されます。使用する証明書を選択します。
	サーバー認証 設定	サーバー認証を 有効にする	サーバー認証の有効 / 無効を設定します。
		サーバー名を 指定する	サーバー名の指定の有効 / 無効を設定します。
		サーバー名	認証サーバー名を入力します。
サーバー証明書	本製品に登録済みのサーバー証明書がリストに表 示されます。 使用する証明書を選択します。		

認証方式	項目		説明
PEAP-TLS	クライアント 認証設定	ユーザー名	ユーザー名を入力します。
		匿名を使用する	匿名の使用の有効 / 無効を設定します。
		匿名	匿名を入力します。
		クライアント 証明書	本製品に登録済みのクライアント証明書がリスト に表示されます。使用する証明書を選択します。
	サーバー認証 設定	サーバー認証を 有効にする	サーバー認証の有効 / 無効を設定します。
		サーバー名を 指定する	サーバー名の指定の有効 / 無効を設定します。
		サーバー名	認証サーバー名を入力します。
サーバー証明書	本製品に登録済みのサーバー証明書がリストに表 示されます。 使用する証明書を選択します。		
PEAP -MSCHAPv2	クライアント 認証設定	ユーザー名	ユーザー名を入力します。
		匿名を使用する	匿名の使用の有効 / 無効を設定します。
		匿名	匿名を入力します。
		パスワード	パスワードを入力します。
	サーバー認証 設定	サーバー認証を 有効にする	サーバー認証の有効 / 無効を設定します。
		サーバー名を 指定する	サーバー名の指定の有効 / 無効を設定します。
		サーバー名	認証サーバー名を入力します。
サーバー証明書	本製品に登録済みのサーバー証明書がリストに表 示されます。 使用する証明書を選択します。		

4 設定後、[OK] をクリックします。

証明書

本製品で使用する証明書の管理をします。証明書を登録 / 削除したり、自己署名証明書を発行したりできます。証明書画面は、[ネットワーク] - [詳細設定] - [証明書] で表示します。

参考

- あらかじめ登録する証明書を、ローカル環境に用意してください。
- 登録可能な証明書の数は以下のとおりです。
 - * 鍵付証明書 : 3 個
 - * 自己署名証明書 : 1 個
 - * 証明書 : 10 個

項目	機能
証明書リスト	プリンターに登録済みの証明書を表示します。
発行先 (CN)	証明書の発行先を表示します。
組織名	証明書の組織名を表示します。
有効期限開始日時	証明書の有効期限の開始日時を表示します。
有効期間終了日時	証明書の有効期間の終了日時を表示します。
ステータス	証明書のステータスを表示します。
自己署名証明書	自己署名証明書を登録します。(81 ページ)
インポート	証明書をインポートします。
削除	証明書リストに登録されている証明書を削除します。

証明書の登録

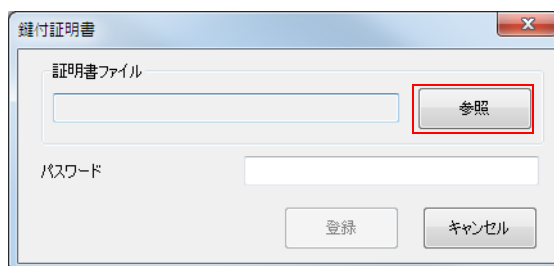
登録する証明書の種類は以下のとおりです。

- 鍵付証明書 (80 ページ)
- 自己署名証明書 (81 ページ)
- 証明書 (82 ページ)

鍵付証明書

鍵付証明書の登録は、以下の手順で設定します。

- 1 [インポート] をクリックします。
- 2 “鍵付証明書” 画面が表示されます。[参照] をクリックし、インポートする鍵付証明書を選択します。

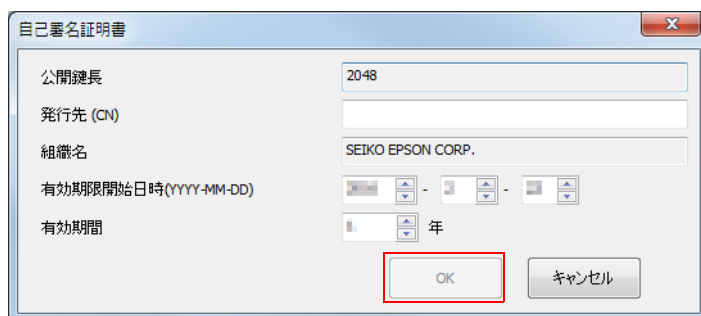


- 3 必要に応じてパスワードを入力し、[登録] をクリックします。
- 4 鍵付証明書リストに、証明書が登録されたことを確認します。
- 5 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
プリンターへの設定については、21 ページ「プリンターへの設定」を参照してください。

自己署名証明書

プリンターが、デバイスなどに発行する証明書です。
自己署名証明書の登録は、以下の手順で設定します。

- 1 [自己署名証明書] をクリックします。
- 2 “自己署名証明書” 画面が表示されます。自己署名証明書の設定をして、[OK] をクリックします。



設定項目は以下のとおりです。

項目	機能
公開鍵長	2048 bit (固定)
発行先	自己署名証明書を発行するプリンターを入力します。 例：ホスト名、IP アドレスなど
組織名	SEIKO EPSON CORP. (固定)
有効期限開始日時 (YYYY-MM-DD)	自己署名証明書の有効期限開始日時を指定します。
有効期間	自己署名証明書の有効期間を指定します。

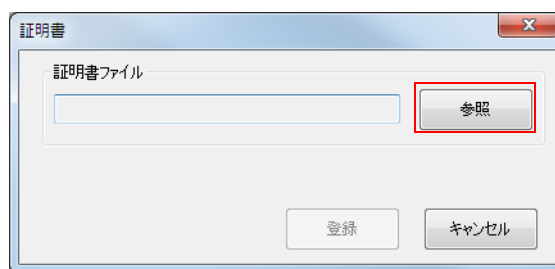
- 3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

証明書

証明書の登録は、以下の手順で設定します。

- 1 [インポート] をクリックします。
- 2 “証明書” 画面が表示されます。[参照] をクリックし、インポートする証明書を選択します。



- 3 [登録] をクリックします。
- 4 証明書リストに、証明書が登録されたことを確認します。
- 5 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

証明書の削除

証明書を入れ替えた場合、使用しない証明書を削除します。

- 1 証明書の証明書リストから、使用しない証明書を選択し、[削除] をクリックします。
- 2 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

SSL/TLS

SSL/TLS で使用する SSL サーバー証明書を設定します。
以下の手順で設定します。

- 1 [ネットワーク] - [詳細設定] - [SSL/TLS] をクリックします。
- 2 SSL/TLS で使用する証明書を設定します。

The screenshot shows a web interface for SSL/TLS settings. At the top, there is a table titled '証明書一覧' (Certificate List) with columns for ID, Issuer (CN), Organization Name, Validity Start, and Validity End. Below the table, there are two dropdown menus: '証明書の選択' (Certificate Selection) and '暗号強度' (Encryption Strength). The '証明書の選択' dropdown is set to '0'. The '暗号強度' dropdown is set to '中' (Medium). There is also a checkbox labeled 'HTTPのHTTPSへのリダイレクト' (Redirect HTTP to HTTPS) which is checked.

設定項目は以下のとおりです。

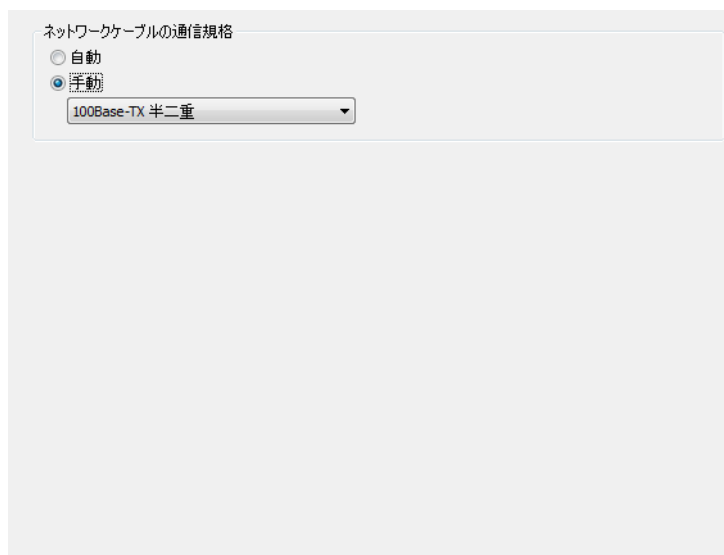
項目	説明
証明書一覧	登録済みの証明書がリスト形式で表示されます。
証明書の選択	SSL サーバー証明書を選択します。証明書一覧から、使用する証明書の ID を選択します。 選択した ID の証明書が、SSL サーバー証明書になります。 証明書はあらかじめ登録しておきます。 証明書の登録方法は、 79 ページ「証明書」 を参照してください。
暗号強度	暗号強度を選択します。
HTTP の HTTPS へのリダイレクト	HTTPのHTTPSへのリダイレクトをする場合にチェックします。

- 3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

イーサネット

ネットワークケーブルの通信規格を設定します。
以下の手順で設定します。

- 1 [ネットワーク] - [詳細設定] - [イーサネット] をクリックします。
- 2 ネットワークケーブルの通信規格を設定します。



設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
自動	ネットワークケーブルの通信規格の設定を自動に指定にします。
手動	ネットワークケーブルの通信規格の設定を手動に指定にします。 ネットワークケーブルの通信規格を選択します。

- 3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

SNMP

SNMP の設定をします。
以下の手順で設定します。

- 1 [ネットワーク] - [詳細設定] - [SNMP] をクリックします。
- 2 コミュニティ名と IP トラップの設定をします。

設定項目は以下のとおりです。

項目		説明
コミュニティ	Read Only	読み出し専用のコミュニティ名を入力します。
	Read/Write	読み書き可能なコミュニティ名を入力します。
IP トラップ	IP トラップ 1	IP トラップ 1 の有効 / 無効を指定します。
	IP アドレス	IP トラップの通知先の IP アドレスを入力します。
	コミュニティ	コミュニティ名を入力します。
	IP トラップ 2	IP トラップ 2 の有効 / 無効を指定します。
	IP アドレス	IP トラップの通知先の IP アドレスを入力します。
	コミュニティ	コミュニティ名を入力します。

- 3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

タイムアウト

タイムアウトの設定をします。
以下の手順で設定します。

- 1 [ネットワーク] - [詳細設定] - [タイムアウト] をクリックします。
- 2 LPR ポート /RAW ポートのタイムアウトを設定します。

The screenshot shows a settings window with two sections. The first section is for LPR, with a checked checkbox and a 'タイムアウト' (Timeout) field set to 29 seconds. The second section is for RAW (Port9100), also with a checked checkbox and a 'タイムアウト' (Timeout) field set to 27 seconds. Each field has up and down arrow buttons for adjustment.

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
LPR	LPR ポートの有効 / 無効を指定します。
タイムアウト	LPR ポートのタイムアウトを指定します。
RAW (Port9100)	RAW ポートの有効 / 無効を指定します。
タイムアウト	RAW ポートのタイムアウトを指定します。

- 3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

Bonjour

Bonjour の設定をします。
以下の手順で設定します。

- 1 [ネットワーク] - [詳細設定] - [Bonjour] をクリックします。
- 2 Bonjour の設定をします。

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
Bonjour	Bonjour の有効 / 無効を指定します。
Bonjour 名	Bonjour 名を入力します。
Bonjour プリンター名	Bonjour プリンター名を入力します。
ロケーション	ロケーションを入力します。

- 3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

時刻設定

タイムサーバーの指定や、プリンターの現在の時刻を設定します。

注意

プリンターをネットワークに接続する前に、プリンターの時刻を設定してください。

以下の手順で設定します。

- 1 [ネットワーク] - [詳細設定] - [時刻設定] をクリックします。
- 2 タイムサーバーの登録または本製品の時刻を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
タイムサーバー	タイムサーバーの有効 / 無効を指定します。
アドレス	タイムサーバーのアドレスを入力します。
更新間隔	タイムサーバーアクセスの更新間隔を指定します。
現在時刻を変更する	現在時刻を変更するか指定します。
YYYY-MM-DD	年月日を指定します。
hh:mm	時刻を指定します。
時差	時差を指定します。

- 3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

フィルタリング

特定の IP アドレスとの通信を許可 / 拒否したり、サービスの有効 / 無効を制御したりする IP フィルターを設定します。

以下の手順で設定します。

- 1 [ネットワーク] - [詳細設定] - [フィルタリング] をクリックします。
- 2 IP フィルターを設定します。

IPフィルター

許可するIPアドレスを設定する 拒否するIPアドレスを設定する

開始アドレス	終了アドレス

編集

補足

[0.0.0.0] - [0.0.0.0] : 使用しないフィルターです。

[x.x.x.x] - [y.y.y.y] : 指定した範囲をフィルターします。

[x.x.x.x] - [0.0.0.0] : [x.x.x.x]のみフィルターします。

ポートフィルター

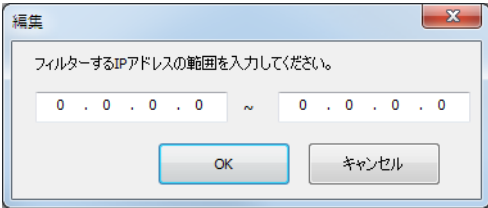
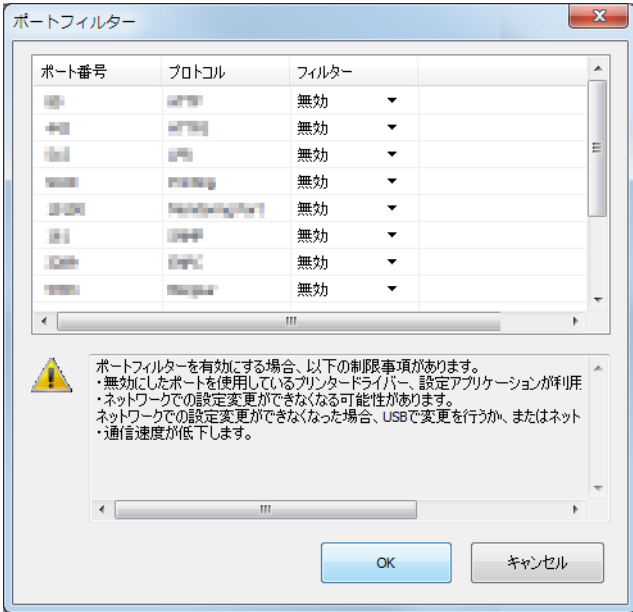
項目	説明
IP フィルター	IP フィルターの有効 / 無効を指定します。
許可する IP アドレスを設定する	通信を許可する IP アドレスを指定します。 IP フィルターリストは通信を許可する IP アドレスのリストになります。IP フィルターリストで設定した IP アドレスのみ通信できます。
拒否する IP アドレスを設定する	通信を拒否する IP アドレスを指定します。 IP フィルターリストは通信を拒否する IP アドレスのリストになります。IP フィルターリストで設定した IP アドレスからは通信できません。
IP フィルターリスト	設定した IP フィルターが表示されます。 IP フィルターは 5 つ設定できます。

開始アドレス	終了アドレス
163.123.145.197	163.123.145.200
163.123.145.210	0.0.0.0
0.0.0.0	0.0.0.0
0.0.0.0	0.0.0.0
0.0.0.0	0.0.0.0

x.x.x.x - y.y.y.y : 指定した範囲をフィルターします。
(例: 163.123.145.197 から 163.123.145.200 をフィルターする)

x.x.x.x - 0.0.0.0 : x.x.x.x フィルターします。
(例: 163.123.145.210 をフィルターする)

0.0.0.0 - 0.0.0.0 : 未設定

項目	説明
編集	<p>フィルターする IP アドレスの範囲を設定します。</p> <p>IP フィルターリストからフィルターを選択し、[編集] をクリックすると " 編集 " 画面が表示されます。</p> <p>フィルターする IP アドレスを入力します。IP アドレスの範囲を指定する場合は、小さい値を開始アドレスに、大きい値を終了アドレスに入力します。</p> <p>入力したアドレスが有効でない場合や、[OK] をクリックすると " 編集 " 画面が閉じ、IP フィルターリストに設定が反映されます。</p> 
ポートフィルター	<p>ポートフィルターを設定します。</p>  <p>ポートフィルターを有効にする場合、以下の制限事項があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効にしたポートを使用しているプリンタードライバー、設定アプリケーションが利用できなくなります。 • ネットワークでの設定変更ができなくなる可能性があります。ネットワークでの設定変更ができなくなった場合、USB で変更を行うか、またはネットワーク設定の初期化を行ってください。 • 通信速度が低下します。

3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、21 ページ「[プリンターへの設定](#)」を参照してください。

管理者設定

管理者設定をします。
以下の手順で設定します。

- 1 [ネットワーク] - [管理者設定] - [管理者設定] をクリックします。
- 2 管理者設定をします。

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
管理者名	管理者名を入力します。
設置場所	設置場所を入力します。

- 3 パスワードを変更する場合、[パスワード変更] をクリックします。
- 4 “パスワード変更” 画面が表示されます。パスワードを設定し、[OK] をクリックします。

- 5 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[21 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

設定の保存と復元

プリンターの設定、登録された証明書、ロゴデータなどをバックアップしたり、設定をプリンターに復元したりします。

参考

- クーポン設定は、保存したり復元したりできません。クーポン設定を他のプリンターにコピーしたい場合は、[116 ページ「クーポン設定を他のコンピューターにコピーしたい」](#)を参照してください。
- シリアルインターフェイスおよびパラレルインターフェイスの場合は、Webコンテンツを保存できません。

プリンターの設定をファイルに保存する

以下の手順で保存します。

- 1 [設定の保存と復元] をクリックします。
- 2 [オプション] の中から、保存するデータをチェックします。

項目		説明
オプション	ロゴデータの保存	プリンターに登録されているロゴデータを保存します。ここでは、プリンターからデータを取得するのではなく、ロゴ登録ファイル (TLG ファイル) のデータを保存します。 31 ページ「ロゴ登録ファイルについて」 を参照してください。

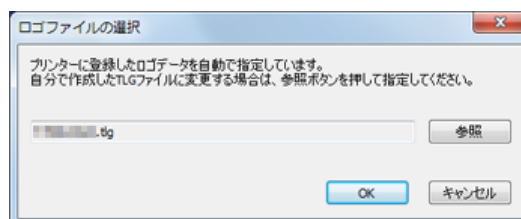
項目		説明
	プリンターの設定値	プリンターの各種設定値を保存します。以下の設定値を保存します。 <ul style="list-style-type: none"> • フォントの設定（コードページ、国際文字セットの設定） • 印刷制御の設定（印刷速度、濃度など） • 用紙節約の設定 • 自動用紙カットの設定 • オプションブザーの設定 • インテリジェント機能の設定 • ネットワークの設定
	Web コンテンツ	プリンターに登録されている Web コンテンツを保存します。 62 ページ「Web コンテンツ」を参照してください。

- 3** [保存] をクリックします。バックアップの確認メッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。

手順 2 で [ログデータの保存] をチェックした場合	手順 4 に進んでください。
手順 2 で [ログデータの保存] をチェックしなかった場合	手順 5 に進んでください。

- 4** "ロゴファイルの選択" 画面が表示されます。最後に保存したロゴファイル名が表示されず。[OK] をクリックします。

保存するファイルを変更したい場合、[参照] をクリックします。



- 5** "名前をつけて保存" 画面が表示されます。ファイル名とバックアップ先を指定して保存します。

設定をプリンターに復元する

以下の手順で復元します。

- 1 [設定の保存と復元] をクリックします。
- 2 [参照] をクリックし、復元する設定ファイルを指定します。

保存
オプション

ログデータの保存 登録済みログデータ

プリンターの設定値

Webコンテンツ

保存

復元

ファイル名:

説明:

参照

復元

- 3 [復元] をクリックします。復元の確認メッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。
- 4 復元が成功した場合、成功メッセージが表示されます。

クーポン印刷

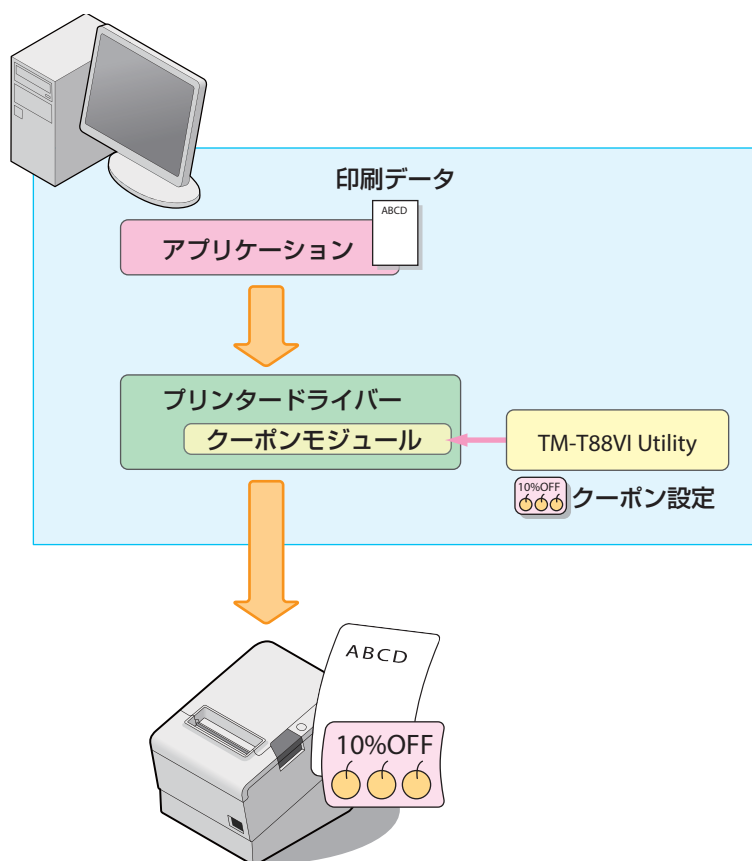
本章では、クーポン印刷の概要と、使い方を説明しています。

クーポン印刷の概要

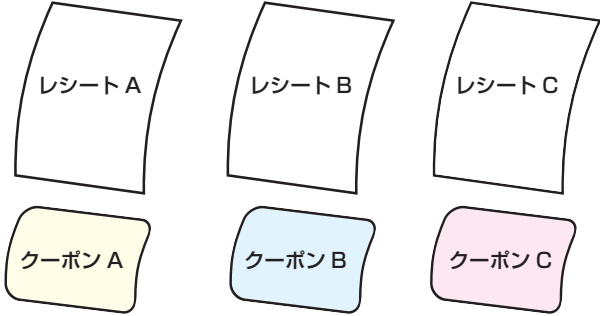
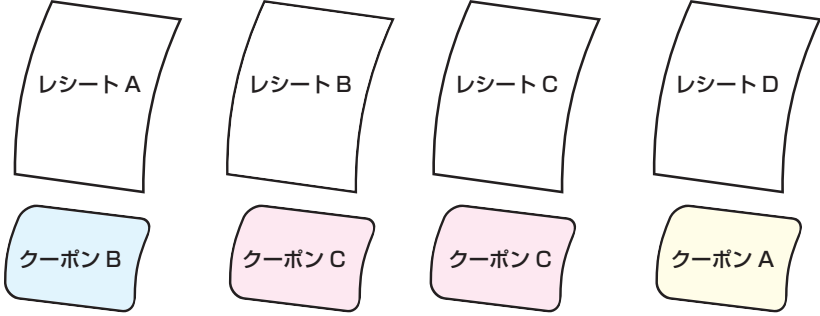
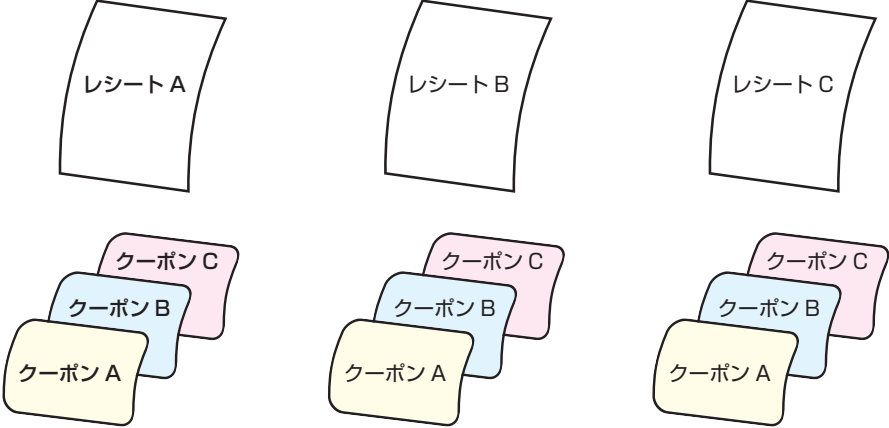
TM-T88VI Utility では、クーポン印刷機能を提供しています。お客様の POS アプリケーションを変更しないでクーポン印刷ができます。TM-T88VI Utility でクーポンデータを登録し、印刷の最後にクーポンを印字します。

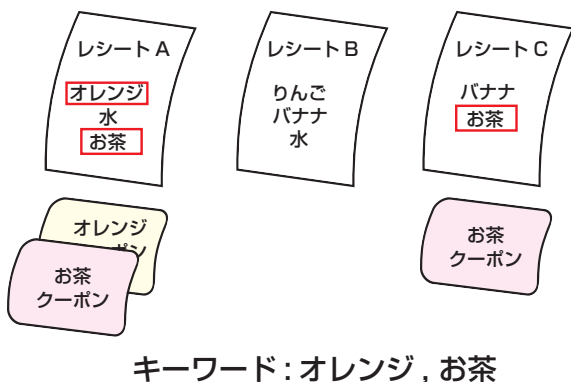
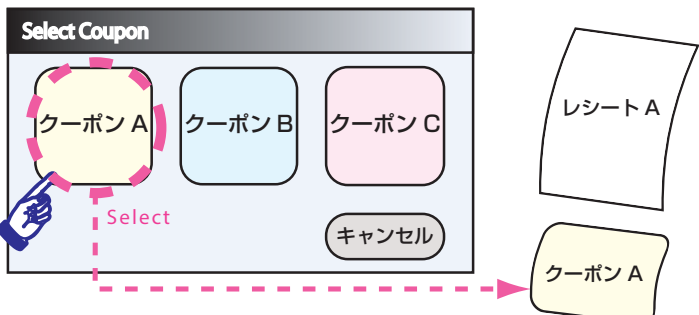
印刷の仕組み

Windows プリンタードライバーや UPOS ドライバーなどの、プリンタードライバーで印刷するアプリケーションの場合、TM-T88VI Utility をインストールすると、プリンタードライバーにクーポンモジュールをアドインします。TM-T88VI Utility はクーポンモジュールに、クーポン画像と印刷方法を設定します。クーポンモジュールは、印刷データの後に設定されたクーポンを印刷します。



クーポン印刷の方法

方法	説明
登録順	<p>登録した順番でクーポンを印刷します。</p>  <p>The diagram illustrates sequential printing. It shows three receipts labeled 'レシート A', 'レシート B', and 'レシート C' arranged horizontally. Below each receipt is a corresponding coupon: 'クーポン A' (yellow), 'クーポン B' (blue), and 'クーポン C' (pink).</p>
ランダム	<p>登録したクーポンを、ランダムに印刷します。</p>  <p>The diagram illustrates random printing. It shows four receipts labeled 'レシート A', 'レシート B', 'レシート C', and 'レシート D' arranged horizontally. Below them are four coupons: 'クーポン B' (blue), 'クーポン C' (pink), 'クーポン C' (pink), and 'クーポン A' (yellow).</p>
全て印刷	<p>登録したクーポンを、すべて印刷します。</p>  <p>The diagram illustrates printing all coupons. It shows three receipts labeled 'レシート A', 'レシート B', and 'レシート C' arranged horizontally. Below each receipt is a stack of three coupons: 'クーポン A' (yellow), 'クーポン B' (blue), and 'クーポン C' (pink).</p>

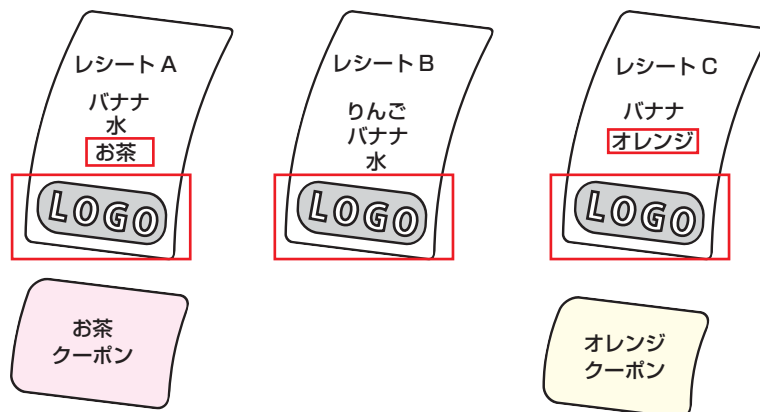
方法	説明
キーワード一致	<p>印刷データに、あらかじめクーポン画像と紐付けしたテキストデータが含まれていると、クーポンを印刷します。印刷データにテキストが含まれていないと検索 / 印刷できません。</p>  <p>キーワード: オレンジ, お茶</p>
ポップアップ選択	<p>レシート印刷時にコンピューターの画面にポップアップウィンドウが開き、オペレーターがクーポンを選択します。ポップアップ選択の場合、コンピューターの表示画面にタッチパネルを用意することをお勧めします。</p> 

参考

- キーワード検索は印刷データがデバイスフォントの場合のみ可能です。グラフィック (TrueType フォント、画像ファイルなど) は検索できません。
- Advanced Printer Driver Ver.5でキーワード一致を使用したい場合、デバイスフォントを指定してください。また、アプリケーションによっては特殊な文字が含まれたキーワードでは一致しない場合があります。

オートカット時のロゴ印刷

印刷データにクーポン画像をロゴ印刷して、クーポンにはロゴ印刷をしません。
 ログファイルにキーワードを指定することで以下のように印刷できます。



この例では、LOGO ファイルのキーワードに "BottomLogo" を設定しています。

以下のように設定してください。

1. 自動用紙カットの設定で [用紙カット時にロゴを印刷しない] に設定する。
2. ログ用のクーポン画像のキーワードに以下の設定をします。設定方法は、[101 ページ「クーポンの登録」](#)を参照してください。

項目	説明
TopLogo	印刷データの前にロゴを印刷します。
BottomLogo	印刷データの後にロゴを印刷します。

3. クーポンの印刷方法を指定します。
 クーポン印刷は、どの方法と組み合わせても設定できます。

参考

キーワードに "TopLogo" を設定した場合、[用紙節約の設定]の"上余白の削減"は設定できません。
[36 ページ「用紙節約」](#)を参照してください。

クーポンデータ形式

- 画像ファイル (BMP, JPEG, PNG, GIF)
 印刷されるサイズは、高さ 2047 ピクセルまでです。

環境

プリンタードライバー

- Advanced Printer Driver Ver.5.00 以降
- OPOS Ver.2.70 R3 以降
- OPOS for .NET Ver.1.12.2 以降

対応アプリケーション

- 上記のドライバーで印刷するアプリケーション

インターフェイス

- *Bluetooth*
- USB
- イーサネット
- シリアル
- 平行

注意

シリアルの場合、通信速度を 38400 bps 以上に設定してください。

クーポンの設定

TM-T88VI Utility でクーポンデータを登録します。

参考

- あらかじめ、クーポンの画像を準備してください。
- バーコード / 二次元シンボルをクーポンに印字する場合
 - * バーコード / 二次元シンボル画像は黒色にしてください。
 - * クーポン画像のサイズを、縮小しなくても良いサイズにしてください。
 - * バーコード / 二次元シンボルの読み取りテストをしてください。
- クーポンは 100 個まで登録できます。



設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
このポートを有効にする	チェックされていると、クーポン印刷機能を有効にします。
クーポンの印刷方法	クーポンの印刷方法を設定します。
上へ / 下へ	登録順で印刷するときの順番を指定します。
配置	クーポンの印刷レイアウトを指定します。
+1/-1	印刷頻度を指定します。回数の多いほうが、多く印刷されます。
追加	クーポンデータを追加します。
編集	選択したクーポンデータの、サイズや画質を編集します。
削除	選択したクーポンデータをリストから削除します。
テスト印刷	選択したクーポンを印刷します。
オプション	クーポンの印刷設定をします。
登録	クーポンデータを、クーポンモジュールに登録します。

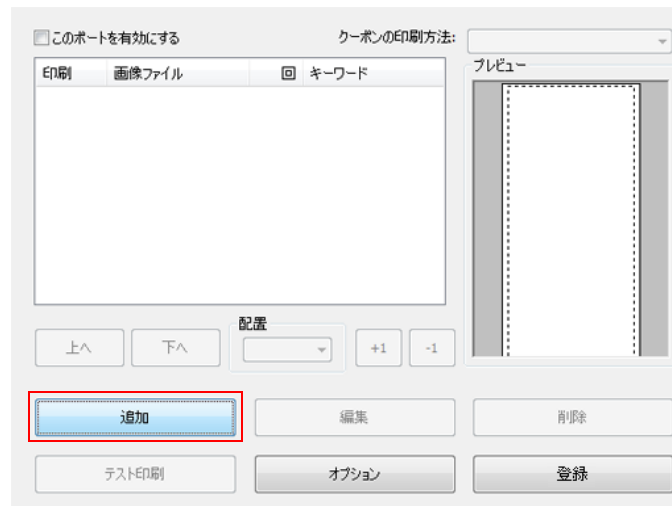
クーポンの登録

ここでは登録するクーポンデータを設定します。

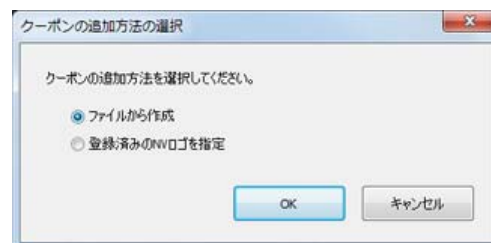
参考

- 指定可能なファイルサイズは、高さ2047 x 幅576 ピクセル(ドット)以下の bmp, jpeg, gif, png ファイルです。
- クーポンの幅が用紙幅を超える場合は用紙幅に収まるようにリサイズされます。

1 [追加] をクリックします。



2 "クーポンの追加方法の選択" 画面が表示されます。クーポンの追加方法を指定し、[OK] をクリックします。



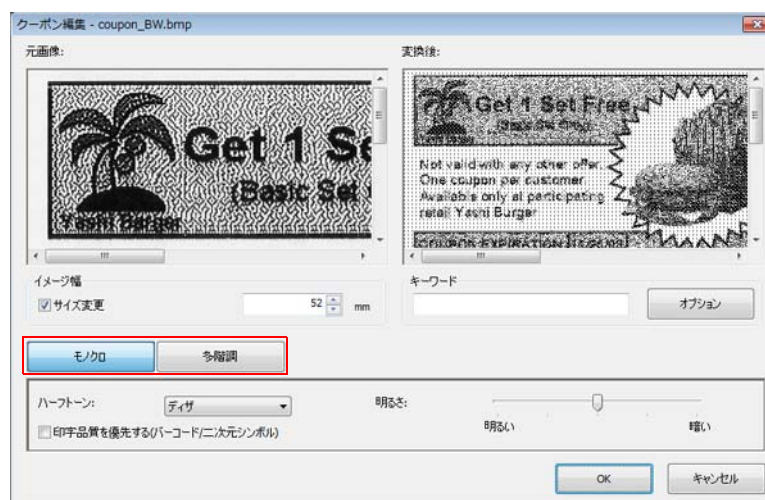
クーポンの追加には、以下の方法があります。

クーポンの追加方法	説明
ファイルから作成 (推奨)	画像ファイルを指定してクーポンデータを作成し、追加します。 手順 3 に進んでください。
登録済みの NV ロゴを指定	プリンターに登録された NV ロゴのキーコードを指定し、追加します。 手順 6 に進んでください。

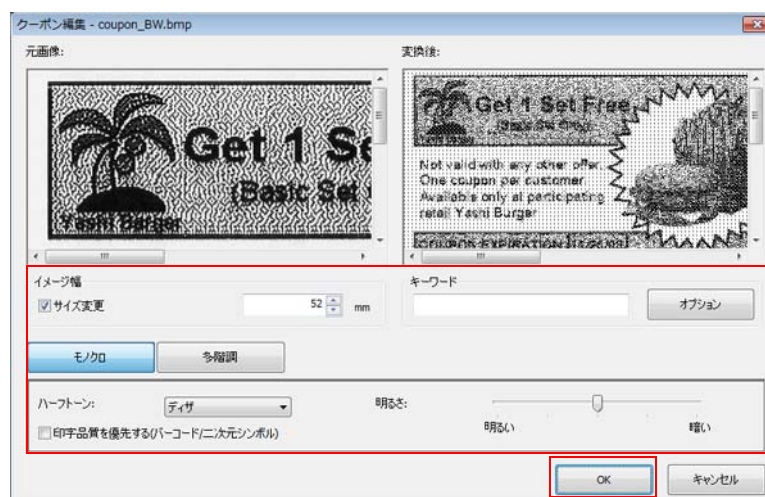
3 クーポンに登録する画像ファイルを指定します。

4 "クーポン編集"画面が表示されます。[モノクロ]または[多階調]を選択し、出力する画像フォーマットを選択します。

[モノクロ]の場合は2色に、[多階調]の場合はグレースケールで16色(階調)に減色します。



5 画面上部のプレビューを参照して、イメージデータを編集します。編集が終了したら、[OK] をクリックします。手順7に進みます。

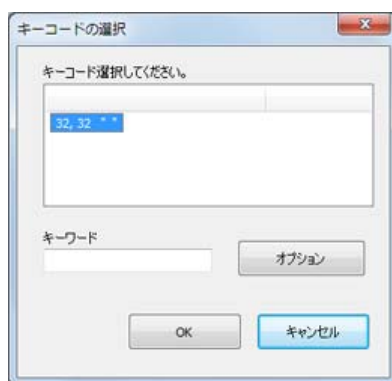


以下を設定します。

項目	説明
イメージ幅	リサイズ後の画像サイズを設定します。(設定値は mm です。)
サイズ変更	サイズ変更の有 / 無を設定します。 チェックしない場合、画像のサイズで印刷されます。画像が大きい場合、用紙幅を超える部分は印刷されません。
キーワード	クーポン画像にキーワードを設定します。 [クーポンの印刷方法]を[キーワード一致]にした場合、印刷データに、ここで設定したキーワードが含まれているときにクーポンを印刷します。 キーワード一致の設定は、105 ページ「クーポンの印刷方法の設定」を参照してください。
オプション	キーワード一致の条件に、[大文字小文字を区別する]/[単語の検索]を設定します。検索の詳細は、106 ページ「キーワード一致」を参照してください。

項目	説明
ハーフトーン	ハーフトーンの種類を、[デイザ]/[誤差拡散]/[なし] から選択します。
明るさ	明るさを設定します。
印字品質を優先する (バーコード/二次元 シンボル)	バーコード / 二次元シンボルが含まれるクーポン画像にチェックします。この設定をしたクーポン画像を印字するときは、印字速度が遅くなります。

- 6 手順2で[登録済みのNV ロゴを指定]を選択した場合、"キーコードの選択"画面が表示されます。クーポンデータにする NV ロゴを選択し、[OK] をクリックします。

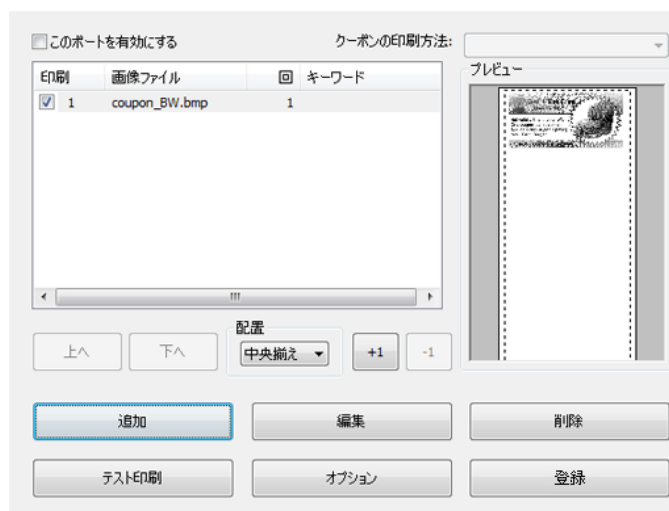


以下を設定します。

項目	説明
キーコード	クーポンデータにする NV ロゴのキーコードを選択します。
キーワード	NV ロゴにキーワードを設定します。 [クーポンの印刷方法]を[キーワード一致]にした場合、印刷データのテキストに、ここで設定したキーワードが含まれていたときにクーポンを印刷します。 ロゴとして印刷する場合は、以下のキーワードを設定します。 最初に印刷： TopLogo 最後に印刷： BottomLogo この設定をしたデータは、レシートの前か後にロゴが印刷されます。クーポンの前後には印刷されません。
オプション	キーワード一致の条件に、[大文字小文字を区別する]/[単語の検索]を設定します。

7 リストにクーポンデータが追加されます。

リスト左側のチェックを外すと、そのクーポンは印刷されません。登録したクーポンを選択すると、プレビューエリアで内容を確認できます。

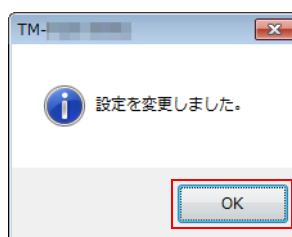


8 配置で、印刷レイアウトを指定します。

9 複数のクーポンデータを登録する場合、手順 1～6 を繰り返します。

10 [登録] をクリックすると、クーポンがクーポンモジュールに登録されます。

11 登録が完了したら、[OK] をクリックします。



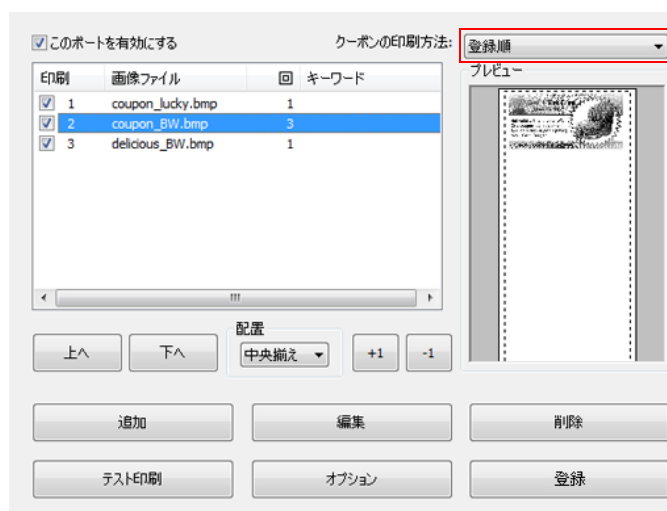
参考

TM-T88VI Utilityでクーポンデータを登録すると、クーポンモジュールが登録したクーポンデータをコンピューターに保存します。保存先は以下を参照してください。

- Windows 10/Windows 8.1/Windows 8
C:¥ProgramData¥epson¥TMT88VIUtil¥
- Windows 7/Windows Vista
C:¥ProgramData¥EPSON¥TMT88VIUtil¥

クーポンの印刷方法の設定

[クーポンの印刷方法]で、クーポンを印刷する方法を選択します。



クーポンの印刷方法は以下のとおりです。96 ページ「[クーポン印刷の方法](#)」を参照してください。

項目	説明
登録順	リストの順番にクーポンを印刷します。
ランダム	登録したクーポンを、ランダムに印刷します。
全て印刷	登録したクーポンを、すべて印刷します。
キーワード一致	印刷データに、あらかじめクーポン画像と紐付けしたテキストデータが含まれていると、クーポンを印刷します。印刷データにテキストが含まれていない場合、検索 / 印刷できません。
ポップアップ選択	レシート印刷時にコンピューターの画面にポップアップウィンドウが開き、オペレーターがクーポンを選択します。

キーワード一致

キーワード一致では、クーポンデータごとに印刷するキーワードを設定し、印刷データのテキストにキーワードが含まれると、クーポンを印刷します。オプション設定で、検索条件を設定したり、印刷しないキーワードを登録したりできます。

印刷しないキーワード

ここで設定したキーワードが印刷データに含まれる場合は、他のクーポンで設定したキーワードが含まれていてもクーポンを印刷しません。

[クーポン]-[オプション]で設定できます。108 ページ「[クーポン印刷の設定](#)」を参照してください。

オプション設定

キーワード検索に以下の条件を付加できます。

項目	説明
大文字小文字を区別する	設定したキーワードを大文字 / 小文字を区別して検索します。 アルファベットの場合に有効な設定です。
単語の検索	設定したキーワードを単語で検索します。

キーワードの検索判断方法

以下は、オプション設定の項目をすべて有効にした場合の結果です。

キーワード	印字データ	検索結果	備考
りんご	りんご	○	
	りんご あめ	○	
	りんごあめ	×	[単語の検索]の設定を外した場合、検索されます。
Apple	Apple	○	
	apple	×	[大文字小文字を区別する]の設定を外した場合、検索されます。
	AppleCandy	×	[単語の検索]の設定を外した場合、検索されます。
	appleCandy	×	オプション設定をすべて外した場合、検索されます。
	Apple Candy	○	

設定の応用

100 枚に 1 枚の割合で、当たりのクーポンを発行

- 1 当たりのクーポンと当たりでないクーポンを用意します。
- 2 クーポンの印刷方法から [ランダム] を選択し、当たりクーポンの回数を 1 に設定します。
- 3 当たりでないクーポンの回数を 99 に設定します。

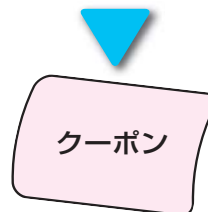
購入合計金額が \$100 から \$999 の場合クーポンを発行

- 1 [クーポンの印刷方法] で [キーワード一致] を選択し、クーポンのキーワードを "Total_ _ \$" (アンダーラインはスペース) に設定します。
- 2 [キーワード指定のオプション] の [単語の検索] のチェックを外します。

1 行の印字桁数が 15 文字固定の場合

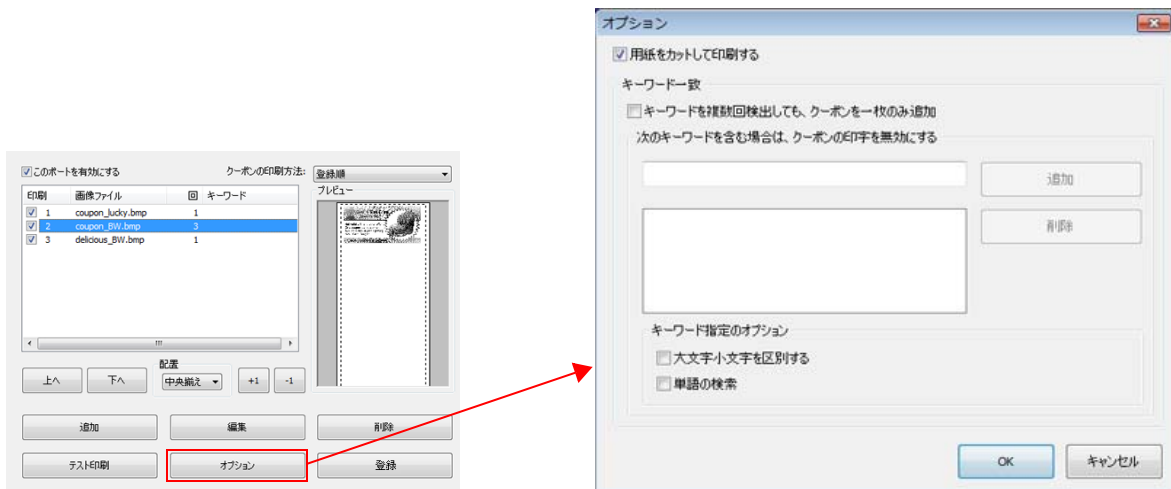
キーワード: Total: _ _ \$

印字結果: Total: _ _ \$100.00



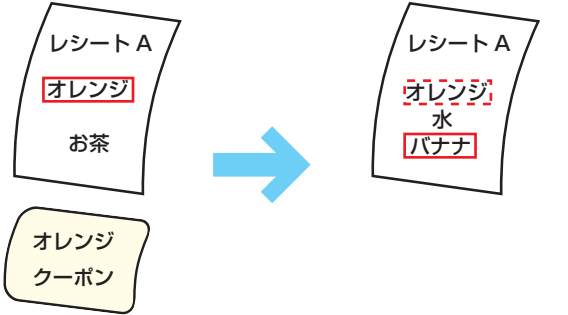
クーポン印刷の設定

[オプション]で、クーポン印刷の設定をします。



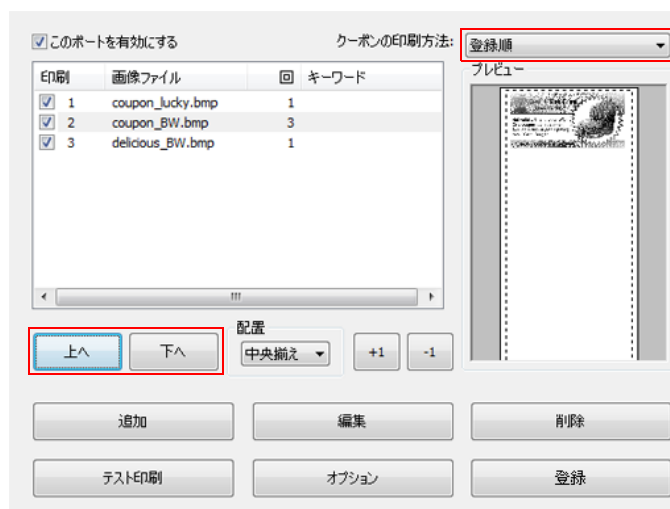
設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
用紙をカットして印刷する	チェックすると、クーポンを印刷するごとにオートカットします。
キーワードを複数回検出しても、クーポンを一枚のみ追加	<p>チェックすると、印刷データにクーポンデータに紐付けしたキーワードが複数回検出されても、該当のクーポンは1枚のみ印刷されます。チェックされていない場合、該当のクーポンを、キーワードの検出回数の枚数印刷します。</p> <p>この設定は、[クーポンの印刷方法]が"キーワード一致"の場合のみ有効な設定です。</p> <div style="text-align: center;"> </div>

項目	説明
次のキーワードを含む場合は、クーポンの印字を無効にする	<p>クーポン印刷を無効にするキーワードを設定します。 印刷データのテキストに、この設定で設定したキーワードが含まれていた場合、キーワードで一致したクーポンがあったとしてもクーポンは印刷されません。キーワードは 100 個設定できます。</p>  <p>キーワード: オレンジ キーワード: オレンジ</p> <p>クーポンの印字を無効にする キーワード: バナナ</p>
キーワード指定のオプション	[次のキーワードを含む場合は、クーポンの印字を無効にする] 設定のキーワード一致の条件に、[大文字小文字を区別する] / [単語の検索] を設定します。検索の詳細は、106 ページ「キーワード一致」を参照してください。

印刷順番の指定

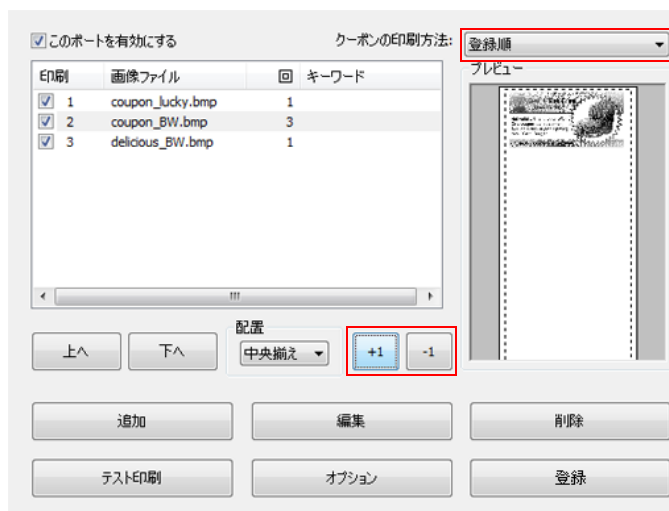
[クーポンの印刷方法] が "登録順" の場合、リストの番号順に印刷します。



クーポンを選択して、[上へ]/[下へ]をクリックすると、順番を入れ替えることができます。

印刷頻度の指定

[クーポンの印刷方法]が"登録順"または"ランダム"の場合、クーポンを印刷する頻度を指定します。



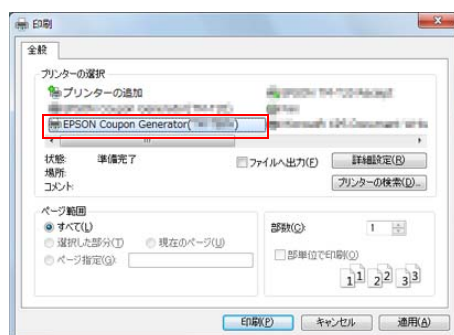
クーポンを選択して、[+1]/[-1]をクリックすると、回数が増減します。

- [クーポンの印刷方法]が"登録順"の場合：
指定された回数、同じクーポンを続けて印刷します。
たとえば No.2 のクーポンの回数が 3 で他のクーポンの回数が 1 の場合、No.1 → No.2 → No.2 → No.2 → No.3 の順番で印刷します。
- [クーポンの印刷方法]が"ランダム"の場合：
印刷頻度を加味してランダムに印刷します。
たとえば No.2 のクーポンの回数が 3 で他のクーポンの回数が 1 の場合、No.2 は他のクーポンよりも 3 倍多く印刷します。

Coupon Generator でクーポンを登録

TM-T88VI Utility をインストールすると、Coupon Generator をインストールできます。
Coupon Generator を使用すると、画像編集ソフトで作成したクーポンを直接登録できます。
以下の手順で作成します。

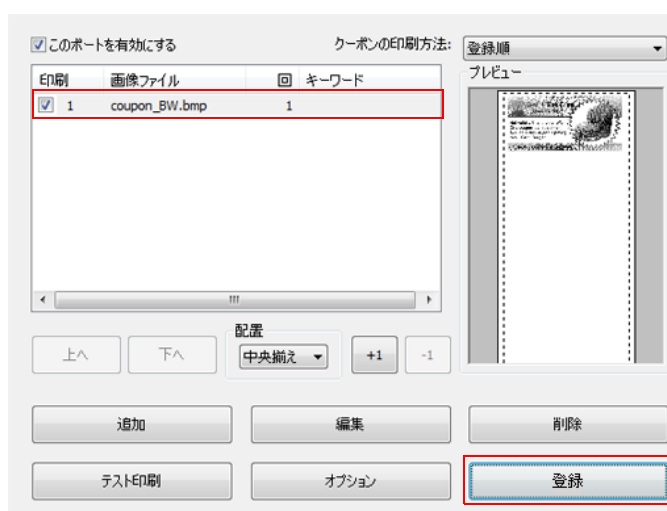
- 1 コンピューターに TM-T88VI Utility がインストールされていることを確認します。
TM-T88VI Utility が起動している場合、終了します。
- 2 画像編集ソフトを使って、クーポンデータを作成します。
- 3 画像編集ソフトからクーポンデータを印刷します。
印刷ダイアログの "EPSON Coupon Generator(TM-T88VI)" を選択し、[印刷] をクリックします。



参考

このとき、TM-T88VI Utility が起動していないことを確認してください。

- 4 TM-T88VI Utility が起動し、画像編集ソフトで作成したクーポンが表示されます。
[登録] をクリックし、クーポンをプリンターモジュールに登録します。



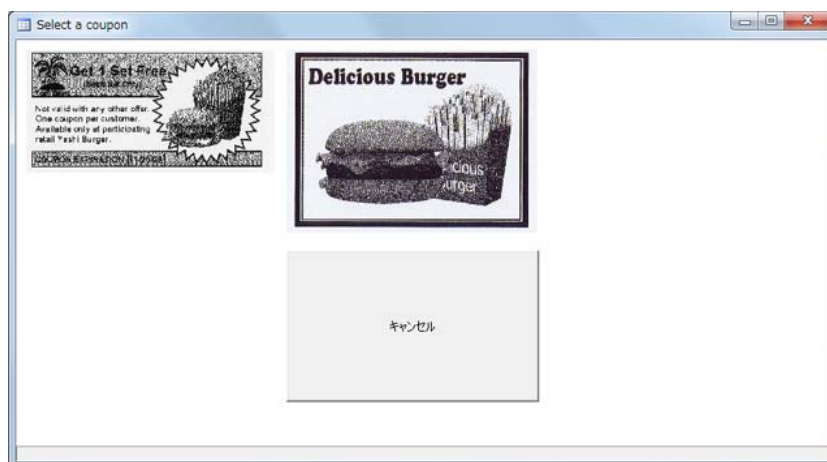
- 5 登録が完了したら、[OK] をクリックします。

クーポンの印刷

ポップアップ選択で印刷する場合

[クーポンの印刷方法]を"ポップアップ選択"に設定した場合、アプリケーションから印刷すると、クーポン選択画面が表示されます。画面からクーポンを選択すると、データ印刷の最後に、クーポンが印字されます。クーポンを印刷しない場合は、[キャンセル]をクリックします。

オプション画面で[クーポンが選択されなかったら自動的に画面を閉じる]をチェックすると、ポップアップ画面が表示された後、指定した時間が経過すると画面が閉じてデータが印刷がされます。クーポンは印刷されません。113ページ「ポップアップ選択の設定」を参照してください。

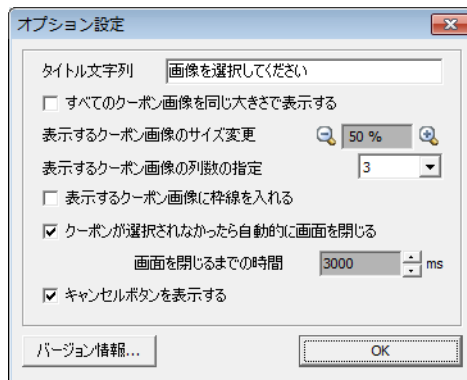


参考

ポップアップ画面で表示できるクーポン画像は、100枚までです。

ポップアップ選択の設定

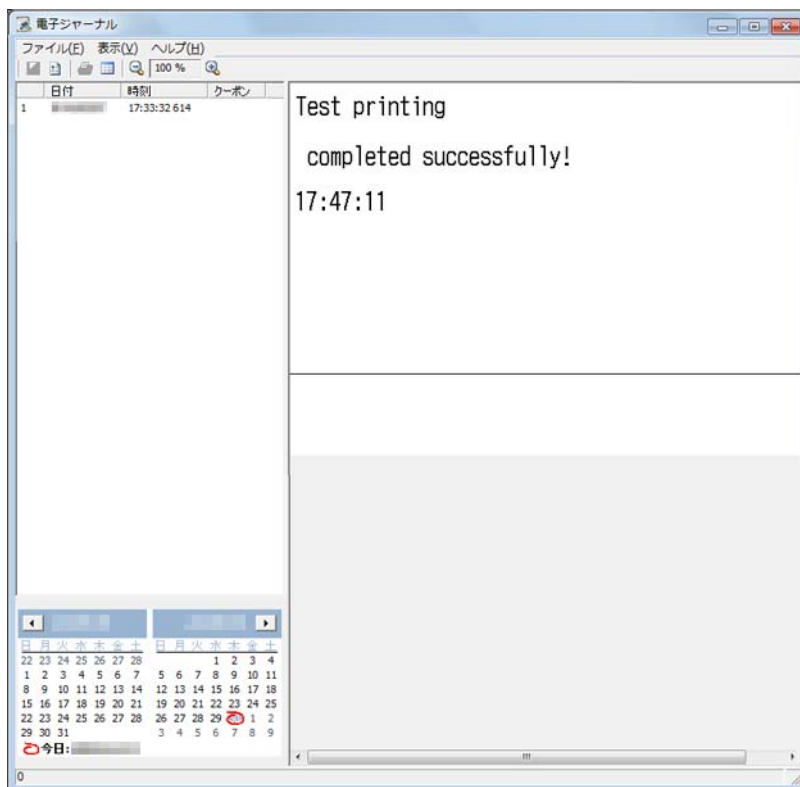
[クーポンの印刷方法]を、「ポップアップ選択」に設定すると、タスクトレイに「クーポンの選択」のアイコンが追加されます。そのアイコンを右クリックし、[オプション]を選択すると「ポップアップ選択」の設定ができます。



項目	説明
タイトル文字列	クーポン選択画面のタイトル文字列を指定します。
すべてのクーポン画像を同じ大きさで表示する	チェックすると、表示されるすべてのクーポンを、同じサイズで表示します。
表示するクーポン画像のサイズ変更	[-]/[+]で、クーポン選択画面に表示される、クーポン画像の縮尺を指定します。
表示するクーポン画像の列数の指定	クーポン選択画面に表示される、クーポン画像の列数を指定します。
表示するクーポン画像に枠線を入れる	チェックを入れると、選択するクーポン画像の淵に枠線が表示されます。
クーポンが選択されなかったら自動的に画面を閉じる	チェックを入れると、クーポン選択画面でクーポン画像を選択しなかった場合、自動的にクーポン選択画面が閉じます。
画面を閉じるまでの時間	自動的にクーポン選択画面が閉じるまでの時間 (100 ~ 30000 ms) を指定します。[クーポンが選択されなかったら自動的に画面を閉じる]が選択されている場合に設定できます。
キャンセルボタンを表示する	チェックを入れると、クーポン選択画面に [キャンセル] ボタンが表示されます。
バージョン情報	オプションのバージョン情報が表示されます。

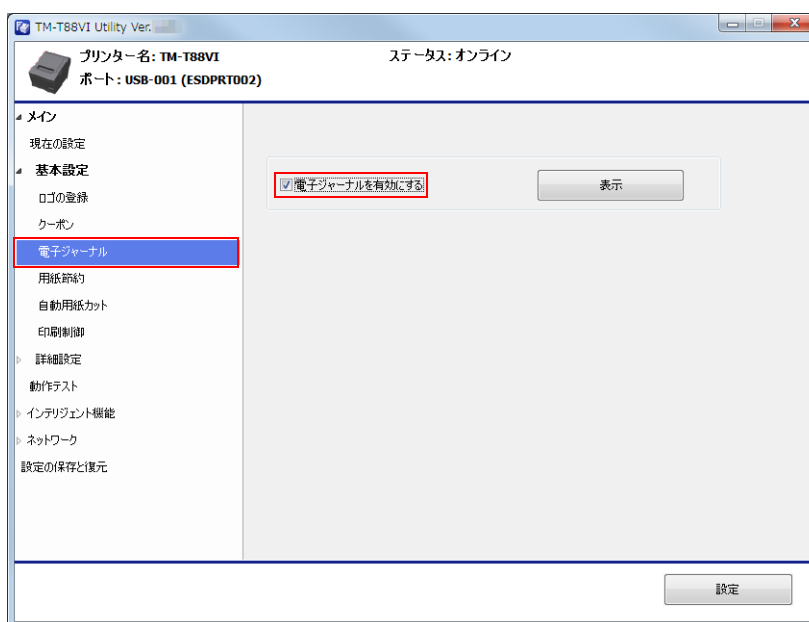
印刷結果の確認

クーポンの印刷結果は、TM-T88VI Utility の電子ジャーナルで確認できます。
電子ジャーナルは、[メイン]-[基本設定]-[電子ジャーナル]-[表示]で表示されます。



設定

電子ジャーナルは、以下の設定で有効になります。
[メイン]-[基本設定]-[電子ジャーナル]-[電子ジャーナルを有効にする]をチェックします。



FAQ

印刷できない

TM-T88VI Utility を終了してください。TM-T88VI Utility が起動していると印刷できません。

クーポンを印刷できない

以下の設定を確認してください。

- 登録したクーポン画像のリスト
チェックされていない場合、チェックしてから再度登録してください。
- [このポートを有効にする]
チェックされていない場合、チェックしてから再度登録してください。

設定したキーワードでクーポンが印刷できない

以下の設定を確認してください。

- キーワード設定以外で印刷できるか確認してください。
- キーワードの設定をもう一度確認してください。
- Advanced Printer Driver Ver.5 を使用しているアプリケーションの場合、以下を確認してください。
 - フォントをデバイスフォントにして、指定されたサイズに変更します。
 - アプリケーションでデバイスフォントを指定できない場合、Advanced Printer Driver Ver.5 の高度な設定で、フォント置き換えをします。以下の手順で設定します。
 1. APD5 Utility の、[フォント置き換え]-[TrueType フォントの置き換え] を選択します。
 2. [置き換える TrueType フォント] に、アプリケーションで使用しているフォントを指定します。
 3. [デバイスフォント] から、デバイスフォントを指定します。デバイスフォントを選択すると、フォントサイズにポイントが指定されます。アプリケーションで印刷するサイズに近いサイズのデバイスフォントを選択してください。
 4. 実際に印刷して、キーワード検索できるかどうかを確認してください。アプリケーションで印刷するサイズとデバイスフォントのサイズが違っていると、印刷できないことがあります。

クーポン設定を他のコンピューターにコピーしたい

以下の手順で他のコンピューターにコピーしてください。

- 1 クーポン対応ドライバーをインストールして設定します。
- 2 コピー元のコンピューターのクーポンデータおよび設定ファイルを、コピーします。
クーポンデータおよび設定ファイルの保存先
Windows 10/Windows 8.1/Windows 8
C:¥ProgramData¥epson¥TMT88VIUtI¥
Windows 7/Windows Vista
C:¥ProgramData¥EPSON¥TMT88VIUtI¥
- 3 コピー先のコンピューターに、クーポンデータおよび設定ファイルを保存します。
コピー元のコンピューターと同じ位置に、クーポンデータおよび設定ファイルを保存してください。

UPOS ドライバーで、クーポン画像をカットしてしまう

お客様のアプリケーションの設定を、以下のようにしてください。

- UPOS ドライバーの用紙カットの方法： エスケープシーケンスの “Feed and Paper cut”

Acknowledgements

About the Info-Zip License

This utility incorporate compression code from the Info-ZIP group.

This is version 2009-Jan-02 of the Info-ZIP license. The definitive version of this document should be available at <ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html> indefinitely and a copy at <http://www.info-zip.org/pub/infozip/license.html>.

Copyright (c) 1990-2009 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

1. Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
2. Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. Additional documentation is not needed for executables where a command line license option provides these and a note regarding this option is in the executable's startup banner. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.
3. Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.
4. Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

About the picojson License

This utility includes picojson.

Copyright 2009-2010 Cybozu Labs, Inc.

Copyright 2011-2014 Kazuho Oku

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.